

2
4-2001
JCS71 U.S. PTO
09/785220
02/20/01

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re Patent Application of:)
)
Noriko SAKAI, et al.)
) Group Art Unit: Unassigned
Serial No.: To be assigned)
) Examiner: Unassigned
Filed: February 15, 2001)
)
For: **GIFT MEDIATING METHOD**)
AND A COMPUTER PRODUCT)

SUBMISSION OF CERTIFIED COPY OF PRIOR FOREIGN
APPLICATION IN ACCORDANCE
WITH THE REQUIREMENTS OF 37 C.F.R. §1.55

Assistant Commissioner for Patents
Washington, D.C. 20231

Sir:

In accordance with the provisions of 37 C.F.R. §1.55, the applicants submit herewith a certified copy of the following foreign application:

Japanese Patent Application No. 2000-320017
Filed: October 19, 2000.

It is respectfully requested that the applicants be given the benefit of the foreign filing date as evidenced by the certified papers attached hereto, in accordance with the requirements of 35 U.S.C. §119.

Respectfully submitted,
STAAS & HALSEY LLP

Date: February 15, 2001

By: _____

James D. Halsey, Jr.
Registration No. 22,729

700 Eleventh Street, N.W., Suite 500
Washington, D.C. 20001
(202) 434-1500

日 本 国 特 許 庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日

Date of Application:

2000年10月19日

出 願 番 号

Application Number:

特願2000-320017

出 願 人

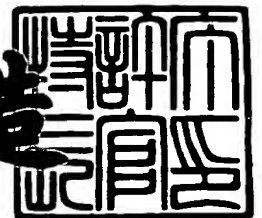
Applicant(s):

富士通株式会社

2000年12月22日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2000-3107681

【書類名】 特許願

【整理番号】 0000714

【提出日】 平成12年10月19日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G07G 1/12

【発明の名称】 ギフト仲介方法およびギフト仲介プログラムを記録した
コンピュータ読み取り可能な記録媒体

【請求項の数】 10

【発明者】

 【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通
株式会社内

 【氏名】 酒井 範子

【発明者】

 【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通
株式会社内

 【氏名】 下田 精治

【特許出願人】

 【識別番号】 000005223

 【氏名又は名称】 富士通株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100089118

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 酒井 宏明

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 036711

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

 【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9717671

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 ギフト仲介方法およびギフト仲介プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 送り主から受取主へ贈られるギフトを仲介するギフト仲介方法であって、

ギフトの受取主側に設置された受取主側クライアントに、該ギフトの送り主からのギフト注文情報を提供する受取主対応工程と、

前記受取主側クライアントからの、前記ギフトの変更に関するギフト変更情報を格納するギフト変更工程と、

前記送り主側に設置された送り主側クライアントが前記受取主に対するギフト注文処理を実行する際に、当該受取主に対応する前記ギフト変更情報を、当該送り主側クライアントに提供する送り主対応工程と、

を含むことを特徴とするギフト仲介方法。

【請求項 2】 前記送り主対応工程では、前記ギフト変更情報に基づいて少なくとも当該受取主に適したベストギフト情報を前記ギフト注文時に前記送り主側クライアントに提供することを特徴とする請求項 1 に記載のギフト仲介方法。

【請求項 3】 前記送り主対応工程は、前記ギフト変更情報に基づいて少なくとも当該受取主に適さないワーストギフト情報を前記ギフト注文時に前記送り主側クライアントに提供することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載のギフト仲介方法。

【請求項 4】 送り主から受取主へ贈られるギフトを仲介するギフト仲介方法であって、

ギフトの受取主側に設置された受取主側クライアントに、該ギフトの送り主からのギフト注文情報を提供する受取主対応工程と、

前記受取主から前記送り主への礼状を受け付ける礼状受付工程と、

前記礼状を少なくとも電子データとして前記送り主側クライアントへ送付する礼状送付工程と、

を含むことを特徴とするギフト仲介方法。

【請求項5】 送り主から受取主へ贈られるギフトを仲介するギフト仲介方法であって、

ギフトの受取主側に設置された受取主側クライアントに、該ギフトの送り主からのギフト注文情報を提供する受取主対応工程と、

前記送り主からのギフトの受領を拒否するための受領拒否状を受け付ける受領拒否状受付工程と、

前記受領拒否状を少なくとも電子データとして前記送り主側クライアントへ送付する受領拒否状送付工程と、

を含むことを特徴とするギフト仲介方法。

【請求項6】 送り主から受取主へ贈られるギフトを仲介するギフト仲介方法であって、

前記ギフトの受取主の指定を受け付けるギフト指定受付工程と、

前記受取主に関する情報を送信する送信工程と、

前記受取主が過去に贈られたギフトの変更に関するギフト変更情報のうち、該受取主に適したギフトの情報の受信する受信工程と、

を含むことを特徴とするギフト仲介方法。

【請求項7】 送り主から受取主へ贈られるギフトを仲介するギフト仲介方法であって、

前記ギフトの受取主の指定を受け付けるギフト指定受付工程と、

前記受取主に関する情報を送信する送信工程と、

前記受取主が過去に贈られたギフトの変更に関するギフト変更情報のうち、該受取主に適さないギフトの情報の受信する受信工程と、

を含むことを特徴とするギフト仲介方法。

【請求項8】 送り主から受取主へ贈られるギフトを仲介するギフト仲介方法であって、

前記受取主宛の前記ギフトについて、送り主に関する情報を含むギフト注文情報を受信する受信工程と、

受信した前記ギフト注文情報の中から、礼状の送信先の指定を受け付ける指定受付工程と、

前記指定に従い、前記礼状を送信する旨の指示情報を送信する送信工程と、
を含むことを特徴とするギフト仲介方法。

【請求項 9】 送り主から受取主へ贈られるギフトを仲介するギフト仲介方法であって、

前記受取主宛の前記ギフトについて、送り主に関する情報を含むギフト注文情報を受信する受信工程と、

受信した前記ギフト注文情報の中から、前記ギフトの受領を拒否する指定を受け付ける指定受付工程と、

前記指定に従い、前記ギフトの受領を拒否する旨の指示情報を送信する送信工程と、

を含むことを特徴とするギフト仲介方法。

【請求項 1 0】 前記請求項 1 ～ 9 のいずれか一つに記載のギフト仲介方法をコンピュータに実行させるためのギフト仲介プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

本発明は、オンライン上におけるギフトの仲介に用いられるギフト仲介方法およびギフト仲介プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体に関するものであり、特に、ギフトの送り主、受取主および販売者の利便性、経済性を向上させることができるギフト仲介方法およびギフト仲介プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体に関するものである。

【 0 0 0 2 】

従来より、お中元、お歳暮、お年賀等の慣習に従って、送り主から受取主へギフトが送られている。通常、送り主は、所定の予算の範囲内で受取主の嗜好を推測しつつ、デパート等で多種多様なギフトの中から所望のギフトを選択し、これを受取主宛に発送している。

【 0 0 0 3 】

しかしながら、送り主が選択したギフトが必ずしも受取主にとって有用なもの

とは限らない。この場合には、折角、送ったギフトが受取主側で全く使われなかったり、持て余されたりしてしまうため、非常に不経済であるという問題が生じる。このことから、従来より、かかる問題を効果的に解決するための手段、方法が切望されていた。

【0004】

【従来 of 技術】

従来より、お中元、お歳暮等のギフトシーズンになると、デパート（販売者側）では、ギフトコーナーが設けられ、飲料、乳製品、海産物等の多種多様のギフトが陳列される。送り主は、ギフトコーナーでギフトを選択し、これをデパートの発送サービス等を利用して配送業者を経由して受取主へ贈る。そして、配送業者から当該ギフトを受け取った受取主は、電話、郵便はがき等の通信手段を介して送り主に対してお礼の連絡をする。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】

ところで、ギフトを贈るという慣習は円滑な人間関係を維持する上で大切な一つの要素であるが、現実的には、ギフトの送り主、受取主および販売者の三者にとってつぎのような問題がそれぞれあった。

【0006】

すなわち、送り主にとっては、デパート等にいちいち出向いて、多種多様のギフトの中から所望のものを選択しなければならず、非常に面倒であるという問題があった。特に、ギフトシーズンにおいては、ギフトコーナーに多数の送り主が殺到するため、じっくりとギフトを選択する余裕がなくなり、結局、受取主が複数いる場合であっても、同一のギフトを選択することになってしまう。

【0007】

また、受取主にとっては、折角、ギフトを贈られても、送り主の意志に反して、嗜好に合わない場合や、活用しにくい場合、当該ギフトを使うことなく無駄になってしまうため、非常に不経済であるという問題があった。

【0008】

ここで、デパートによっては、不要なギフトを別の有用なギフトに交換できる

サービスを提供しているところもある。しかしながら、ギフト交換を行う場合には、受取主がデパートに出向き、煩雑な交換手続きを経なければならないため、非常に面倒である。

【 0 0 0 9 】

また、ギフトの配送日に受取主が不在である場合、受取主は、配送業者に再配送を依頼する必要がある。すなわち、従来では、受取主が自身の都合に合わせてギフトを受け取ることができないため、利便性に乏しい。ここで、好ましくない送り主からのギフトの受領を拒否したい受取主もいる場合も考えられるが、従来では、このような場合にも当該ギフトが配送業者により配送されてしまうため、受領を拒否することが難しい。

【 0 0 1 0 】

また、通常、ギフトを受領した受取主は、電話や郵便はがき等の通信手段を介して、送り主にお礼の連絡をする。しかしながら、実際には、連絡行為が億劫となったり、ギフト数が多くなるほど連絡作業に時間がかかることから受取主に精神的な負担を強いる場合があるという問題があった。

【 0 0 1 1 】

また、ギフトシーズンにおける販売店にとっては、ギフトコーナーの設置に伴うスペース確保や店員数の増強が必要になるとともに、ギフト交換依頼に伴う作業（交換作業、在庫管理、売上管理等）が増えるため人件費、スペース費等のコスト負担が増大するという問題があった。また、受取主が不在の場合には、再配送に伴う配送コストもかかる。

【 0 0 1 2 】

本発明は、上記に鑑みてなされたもので、ギフトの送り主、受取主および販売者の利便性、経済性を向上させることができるギフト仲介方法およびギフト仲介プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体を提供することを目的とする。

【 0 0 1 3 】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために、本発明は、送り主から受取主へ贈られるギフトを

仲介するギフト仲介方法であって、ギフトの受取主側に設置された受取主側クライアントに、該ギフトの送り主からのギフト注文情報を提供する受取主対応工程と、前記受取主側クライアントからの、前記ギフトの変更に関するギフト変更情報を格納するギフト変更工程と、前記送り主側に設置された送り主側クライアントが前記受取主に対するギフト注文処理を実行する際に、当該受取主に対応する前記ギフト変更情報を、当該送り主側クライアントに提供する送り主対応工程とを含むことを特徴とする。

【 0 0 1 4 】

この発明によれば、受取主に関するギフト変更情報を格納し、ギフト注文時に上記ギフト変更情報を送り主側クライアントへ提供するようにしたので、ギフト変更情報に基づいて受取主の嗜好の傾向を把握することができるため、不要なギフトを贈るという無駄を回避させ、ギフトの送り主、受取主および販売者の利便性、経済性を向上させることができる。

【 0 0 1 5 】

また、本発明は、送り主から受取主へ贈られるギフトを仲介するギフト仲介方法であって、ギフトの受取主側に設置された受取主側クライアントに、該ギフトの送り主からのギフト注文情報を提供する受取主対応工程と、前記受取主から前記送り主への礼状を受け付ける礼状受付工程と、前記礼状を少なくとも電子データとして前記送り主側クライアントへ送付する礼状送付工程とを含むことを特徴とする。

【 0 0 1 6 】

この発明によれば、受取主から送り主への礼状を受け付け、この礼状を少なくとも電子データとして送り主側クライアントへ送付するようにしたので、受取主の利便性を向上させることができる。

【 0 0 1 7 】

また、本発明は、送り主から受取主へ贈られるギフトを仲介するギフト仲介方法であって、ギフトの受取主側に設置された受取主側クライアントに、該ギフトの送り主からのギフト注文情報を提供する受取主対応工程と、前記送り主からのギフトの受領を拒否するための受領拒否状を受け付ける受領拒否状受付工程と、

前記受領拒否状を少なくとも電子データとして前記送り主側クライアントへ送付する受領拒否状送付工程とを含むことを特徴とする。

【 0 0 1 8 】

この発明によれば、送り主からのギフトの受領を拒否するための受領拒否状を受け付け、この受領拒否状を少なくとも電子データとして送り主側クライアントへ送付するようにしたので、受取主が確かに当該ギフトを受領しなかったことが電子的に記録され管理できるとともに、受取拒否に伴う受取主の精神的負担を軽減することができ、さらに無駄な配送を回避することができる。

【 0 0 1 9 】

また、本発明は、送り主から受取主へ贈られるギフトを仲介するギフト仲介方法であって、前記ギフトの受取主の指定を受け付けるギフト指定受付工程と、前記受取主に関する情報を送信する送信工程と、前記受取主が過去に贈られたギフトの変更に関するギフト変更情報のうち、該受取主に適したギフトの情報の受信する受信工程とを含むことを特徴とする。

【 0 0 2 0 】

この発明によれば、ギフト変更情報のうち、当該受取主に適したギフトの情報を受信するようにしたので、受取主が好むギフトを把握することができるため、不要なギフトを贈るという無駄を回避させ、ギフトの送り主、受取主および販売者の利便性、経済性を向上させることができる。

【 0 0 2 1 】

また、本発明によれば、送り主から受取主へ贈られるギフトを仲介するギフト仲介方法であって、前記ギフトの受取主の指定を受け付けるギフト指定受付工程と、前記受取主に関する情報を送信する送信工程と、前記受取主が過去に贈られたギフトの変更に関するギフト変更情報のうち、該受取主に適さないギフトの情報の受信する受信工程とを含むことを特徴とする。

【 0 0 2 2 】

この発明によれば、ギフト変更情報のうち、当該受取主に適さないギフトの情報を受信するようにしたので、受取主が好まないギフトを把握することができるため、不要なギフトを贈るという無駄を回避させ、ギフトの送り主、受取主およ

び販売者の利便性、経済性を向上させることができる。

【 0 0 2 3 】

また、本発明によれば、送り主から受取主へ贈られるギフトを仲介するギフト仲介方法であって、前記受取主宛の前記ギフトについて、送り主に関する情報を含むギフト注文情報を受信する受信工程と、受信した前記ギフト注文情報の中から、礼状の送信先の指定を受け付ける指定受付工程と、前記指定に従い、前記礼状を送信する旨の指示情報を送信する送信工程とを含むことを特徴とする。

【 0 0 2 4 】

この発明によれば、受取主から送り主への礼状を送信する旨の指示情報を送信するようにしたので、礼状送付に関する受取主の利便性を向上させることができる。

【 0 0 2 5 】

また、本発明によれば、送り主から受取主へ贈られるギフトを仲介するギフト仲介方法であって、前記受取主宛の前記ギフトについて、送り主に関する情報を含むギフト注文情報を受信する受信工程と、受信した前記ギフト注文情報の中から、前記ギフトの受領を拒否する指定を受け付ける指定受付工程と、前記指定に従い、前記ギフトの受領を拒否する旨の指示情報を送信する送信工程とを含むことを特徴とする。

【 0 0 2 6 】

この発明によれば、送り主からのギフトの受領を拒否する旨の指示情報を送信するようにしたので、受取拒否に伴う受取主の精神的負担を軽減することができ、さらに無駄な配送を回避することができる。

【 0 0 2 7 】

また、本発明は、前記請求項 1 ～ 9 のいずれか一つに記載のギフト仲介方法をコンピュータに実行させるためのギフト仲介プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体である。

【 0 0 2 8 】

この発明によれば、請求項 1 ～ 9 のいずれか一つに記載の発明と同様の作用・効果を奏する。

【 0 0 2 9 】

【発明の実施の形態】

以下、図面を参照して本発明にかかるギフト仲介方法およびギフト仲介プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体の一実施の形態について詳細に説明する。

【 0 0 3 0 】

図 1 は、本発明にかかる一実施の形態の構成を示すブロック図である。この図において、送り主側クライアント $10_1 \sim 10_n$ は、ギフトの送り主によりそれぞれ操作される n 台のコンピュータ装置であり、モデム、ターミナルアダプタ、ルータ等の通信装置および電話回線（または専用線）を介してインターネット 20 に接続されている。これらの送り主側クライアント $10_1 \sim 10_n$ は、TCP / IP (Transmission Control Protocol / Internet Protocol) に従って、後述するサーバ 50 にインターネット 20 を介してアクセスすることにより、ギフト仲介用の Web サイト 60 を介してギフトのオンライン注文等に利用される。

【 0 0 3 1 】

送り主側クライアント 10_1 において、制御部 11_1 は、各部を制御するものであり、Web ブラウザ 12_1 およびメール 13_1 を備えている。Web ブラウザ 12_1 は、入力部 17_1 より入力された URL (Uniform Resource Locator) に基づいて、インターネット 20 を介してサーバ 50 から Web ページのデータを取得し、このデータを解釈して出力部 18_1 に Web ページを表示させるという、表示制御を行う。入力部 17_1 は、キーボード、マウス等の入力デバイスである。出力部 18_1 は、ディスプレイ、プリンタ等の出力デバイスである。

【 0 0 3 2 】

メール 13_1 は、電子メールの作成、POP 3 (Post Office Protocol version 3) や SMTP (Simple Mail Transfer Protocol) に従って電子メールの送受信を行うプログラムである。HD (ハードディスク装置) 14_1 は、大容量の記録媒体であり、コンピュータプログラムや各種データを記録するためのものである。

【 0 0 3 3 】

R A M (Random Access Memory) 1 5₁ は、リード／ライト可能な記録媒体であり、制御部 1 1₁ によりアクセスされる。通信制御インタフェース 1 6₁ は、上述した T C P / I P に従って、インターネット 2 0 との間の通信を制御する。入出力インタフェース 1 9₁ は、入力部 1 7₁ および出力部 1 8₁ と各部との間のインタフェースをとる。なお、他の送り主側クライアント 1 0₂ (図示略) ~ 1 0_n は、送り主側クライアント 1 0₁ と同様の構成とされている。

【 0 0 3 4 】

受取主側クライアント 3 0₁ ~ 3 0_m は、ギフトの受取主側に設置された m 台のコンピュータ装置であり、モデム、ターミナルアダプタ、ルータ等の通信装置および電話回線（または専用線）を介してインターネット 2 0 に接続されている。これらの受取主側クライアント 3 0₁ ~ 3 0_m は、T C P / I P に従って、後述するサーバ 5 0 にインターネット 2 0 を介してアクセスすることにより、W e b サイト 6 0 を介して、ギフトの確認、配送予定日の変更、礼状／受領拒否状の編集、ギフトの変更等に利用される。また、受取主側クライアント 3 0₁ ~ 3 0_m は、送り主側クライアント 1 0₁ と同様の構成とされている。

【 0 0 3 5 】

販売者側クライアント 4 0₁ ~ 4 0_s は、ギフトの販売者側（デパート等）に設置された s 台のコンピュータ装置であり、モデム、ターミナルアダプタ、ルータ等の通信装置および電話回線（または専用線）を介してインターネット 2 0 に接続されている。これらの販売者側クライアント 4 0₁ ~ 4 0_s は、T C P / I P に従って、後述するサーバ 5 0 にインターネット 2 0 を介してアクセスすることにより、ギフトの登録、ギフトの注文管理、発送管理等に利用される。また、販売者側クライアント 4 0₁ ~ 4 0_s は、送り主側クライアント 1 0₁ と同様の構成とされている。

【 0 0 3 6 】

サーバ 5 0 は、図示しないファイアウォールやルータを介してインターネット 2 0 に接続されており、上述した送り主側クライアント 1 0₁ ~ 1 0_n、受取主側クライアント 3 0₁ ~ 3 0_m、販売者側クライアント 4 0₁ ~ 4 0_s にアクセスされる。このサーバ 5 0 は、W e b サイト 6 0 を介して、送り主、受取主およ

び販売者という三者間のギフト仲介を行うギフト仲介装置として機能する。

【 0 0 3 7 】

サーバ 5 0 において、通信制御インタフェース 5 1 は、TCP / IP に従って、インターネット 2 0 との間の通信制御を行う。制御部 5 2 は、各部を制御するものであり、主制御部 5 3、送り主関連制御部 5 4、受取主関連制御部 5 5、データベース制御部 5 6、メール送受信制御部 5 7 および Web ページ生成部 5 8 から構成されている。主制御部 5 3 は、各部を制御するものであり、サーバ 5 0 のログインがあった場合に、後述する ID およびパスワードを用いて、会員であるか否かの認証等を行う。

【 0 0 3 8 】

送り主関連制御部 5 4 は、送り主関連の処理を実行する。ここで、送り主関連の処理としては、送り主からのギフトの注文を受け付けるギフト注文処理等が挙げられる。受取主関連制御部 5 5 は、受取主関連の処理を実行する。ここで、受取主関連の処理としては、ギフト確認処理、礼状受付処理、ギフト変更処理、配送予定日変更処理、受領拒否処理等が挙げられる。

【 0 0 3 9 】

ギフト確認処理は、受取主が、送り主、ギフトの内容、配送予定日等の確認を行うための処理である。礼状受付処理は、受取主から送り主への礼状を受け付けるための処理である。ギフト変更処理は、受取主の嗜好に合わない場合に、実際にギフトが配送される前に、送り主から贈られたギフトを別のギフトにオンライン上で変更するための処理である。配送予定日変更処理は、受取主の都合が悪い場合に、実際にギフトが配送される前に、ギフトの配送予定日を受取主が別の日に変更するための処理である。受領拒否処理は、送り主からのギフトの受領を拒否するための処理である。

【 0 0 4 0 】

データベース制御部 5 6 は、会員管理データベース 1 0 0、ギフト商品データベース 1 1 0、ギフト管理データベース 1 2 0、ギフト変更管理データベース 1 3 0 および礼状 / 受領拒否状定型文データベース 1 4 0 へのアクセスを制御する。これらの会員管理データベース 1 0 0、ギフト商品データベース 1 1 0、ギフ

ト管理データベース 1 2 0、ギフト変更管理データベース 1 3 0 および礼状／受領拒否状定型文データベース 1 4 0 の詳細については後述する。

【 0 0 4 1 】

メール送受信制御部 5 7 は、送り主側クライアント $1 0_1 \sim 1 0_n$ 、受取主側クライアント $3 0_1 \sim 3 0_m$ および販売者側クライアント $4 0_1 \sim 4 0_s$ との間で送受信される電子メールのアドレス管理や、メールフォーマットの作成等を行う。Web ページ生成部 5 8 は、送り主側クライアント $1 0_1 \sim 1 0_n$ 、受取主側クライアント $3 0_1 \sim 3 0_m$ および販売者側クライアント $4 0_1 \sim 4 0_s$ に閲覧される Web ページを生成する。記憶部 5 9 は、ハードディスク装置等であり、主制御部 5 3 の制御により各種データを記憶する。

【 0 0 4 2 】

会員管理データベース 1 0 0 は、会員（送り主および受取主）に関する会員情報を格納するデータベースである。具体的には、会員管理データベース 1 0 0 は、図 2（a）に示したように「会員 ID」、「パスワード」、「氏名」、「住所」、「メールアドレス」、「カード番号」、「ベストギフト公開フラグ」および「ワーストギフト公開フラグ」というフィールドを備えている。

【 0 0 4 3 】

「会員 ID」は、会員を識別するための識別子である。「パスワード」は、サーバ 5 0 にログインした者が正規の会員であることの認証に用いられる。「氏名」は、会員の氏名に関する情報である。「住所」は、会員の住所に関する情報である。「メールアドレス」は、会員との連絡用の電子メールのアドレスに関する情報である。「カード番号」は、ギフト注文時の決済に用いられるクレジットカードの番号に関する情報である。

【 0 0 4 4 】

「ベストギフト公開フラグ」は、受取主が好むギフト（ベストギフトという）の情報をギフトを選択中の送り主に公開するか否かを表すフラグであり、会員登録時に会員により設定される。すなわち、ベストギフトの情報を送り主に公開する場合、「ベストギフトフラグ」には、「Y e s」が設定される、一方、ベストギフトの情報を公開しない場合、「ベストギフトフラグ」には、「N o」が設定

される。

【 0 0 4 5 】

「ワーストギフト公開フラグ」は、受取主が好まないギフト（ワーストギフト）の情報を選択中の送り主に公開するか否かを表すフラグであり、会員登録時に会員により設定される。すなわち、ワーストギフトの情報を送り主に公開する場合、「ワーストギフト」には、「Y e s」が設定される。一方、公開しない場合、「ワーストギフト」には、「N o」が設定される。また、一実施の形態では、ベストギフトおよびワーストギフトの情報を特定の会員にのみ公開できるようになっている。

【 0 0 4 6 】

これらのベストギフトおよびワーストギフトの情報は、受取主のギフトの変更履歴に基づいて作成され、受取主の嗜好の傾向を表すものである。すなわち、ベストギフトおよびワーストギフトの情報は、送り主がギフトを選択する際の目安となるものであり、受取主が好まないギフトを贈ることによる前述した問題点を回避するための情報として利用される。

【 0 0 4 7 】

図 1 に戻り、ギフト商品データベース 1 1 0 は、販売者側クライアント 4 0₁ ~ 4 0_s により登録されたギフト商品の情報を格納するデータベースである。具体的には、ギフト商品データベース 1 1 0 は、図 2（b）に示したように「商品 I D」、「仕様」、「サムネイルファイル」および「価格」というフィールドを備えている。

【 0 0 4 8 】

「商品 I D」は、販売店およびギフト商品を識別するための識別子であり、「販売店名称」および「ギフト商品名称」から構成されている。例えば、「A 店 - 飲料詰合せ」は、販売店名称 = A 店、ギフト商品名称 = 飲料詰合せである。「仕様」は、ギフト商品の仕様に関する情報である。「サムネイルファイル」は、ギフト商品のサムネイル画像のファイル名に関する情報である。「価格」は、ギフト商品の販売価格に関する情報である。

【 0 0 4 9 】

図 1 に戻り、ギフト管理データベース 1 2 0 は、送り主からの注文を受けたギフトの管理情報を格納するデータベースである。具体的には、図 2 (c) に示したように、「ギフト ID」、「受取主 ID」、「送り主 ID」、「種別」、「商品 ID」、「個数」、「配送予定日」、「礼状／受領拒否状 ID」および「受領拒否フラグ」というフィールドを備えている。

【 0 0 5 0 】

「ギフト ID」は、送り主からの注文を受けたギフトを特定するための識別子である。「受取主 ID」は、受取主を識別するための識別子であり、会員管理データベース 1 0 0 の「会員 ID」（図 2 (a) 参照）に対応している。「送り主 ID」は、送り主を識別するための識別子であり、会員管理データベース 1 0 0 の「会員 ID」（図 2 (a) 参照）に対応している。「種別」は、ギフトの種別に関する情報である。

【 0 0 5 1 】

「商品 ID」は、ギフト商品データベース 1 1 0 の「商品 ID」（図 2 (b) 参照）に対応している。「個数」は、同一の受取主へ贈られるギフトの個数に関する情報である。「配送予定日」は、受取主へギフトを配送する場合の配送予定日に関する情報である。「礼状／受領拒否状 ID」は、受取主から送り主へ送付される礼状または受領拒否状を識別するための識別子である。「受領拒否フラグ」は、実際にギフトが受取主に配送される前に、送り主からのギフトの受領を拒否したことを表すフラグ（同図では「○」）である。

【 0 0 5 2 】

図 1 に戻り、ギフト変更管理データベース 1 3 0 は、受取主の嗜好に当該ギフトが合わない等の理由により、当該ギフトが実際に受取主に配送される前に受取主によりオンライン上で別のギフトに変更された場合のギフト変更管理情報を格納するデータベースである。具体的には、ギフト変更管理データベース 1 3 0 は、図 3 (a) に示したように、「変更 ID」、「ギフト ID」、「受取主 ID」、「元商品 ID」、「新商品 ID」および「変更日」というフィールドを備えている。

【 0 0 5 3 】

「変更ID」は、ギフト変更管理情報を識別するための識別子である。「ギフトID」は、ギフト管理データベース120の「ギフトID」（図2（c）参照）に対応している。「受取主ID」は、ギフトの変更を行った受取主を識別するための識別子である。「元商品ID」は、変更前のギフト商品を識別するための識別子であり、ギフト管理データベース120の「商品ID」（図2（c）参照）に対応している。「新商品ID」は、変更後のギフト商品を識別するための識別子である。「変更日」は、ギフトが変更された日付に関するデータである。

【0054】

図1に戻り、礼状／受領拒否状定型文データベース140は、受取主から送り主への礼状／受領拒否状の定型文データを格納するデータベースである。具体的には、礼状／受領拒否状定型文データベース140は、図3（b）に示したように、「種別」、「礼状／受領拒否状ID」および「定型文データ」というフィールドを備えている。

【0055】

「種別」は、礼状の種別および受領拒否状の種別に関する情報である。同図では、「お中元」、「お歳暮」、「お年賀」および「お祝い」は、礼状に対応している。一方、「返却」は、受領拒否状に対応している。「礼状／受領拒否状ID」は、礼状／受領拒否状を識別するための識別子である。「定型文データ」は、礼状／受領拒否状に記載される定型文に関するデータであり、「種別」に応じた内容とされている。

【0056】

つぎに、上述した一実施の形態の動作について、図4～図10にそれぞれ示したフローチャート、および図11～図27に示した各画面例を参照しつつ説明する。図1に示したサーバ50にアクセスがあると、主制御部53は、図11に示したトップ画面200を当該クライアントの出力部に表示させる。このトップ画面200には、ID入力欄201、パスワード入力欄202、ログインボタン203、会員登録ボタン204、送り主専用画面ボタン205および受取主専用画面ボタン206および終了ボタン207が表示されている。

【0057】

ここで、サーバ50においては、図4に示したステップSA1およびステップSA2、ステップSA4～ステップSA7の判断が行われる。ステップSA1では、会員登録要求が有るか否か、すなわち、会員登録ボタン204が押下されたか否かが判断され、この判断結果が「No」である場合、ステップSA2の判断が行われる。

【0058】

ステップSA2では、ログイン要求が有るか否か、すなわち、ID入力欄201およびパスワード入力欄202に会員IDおよびパスワードが入力された状態でログインボタン203が押下されたか否かが判断され、この判断結果が「No」である場合、ステップSA1の判断が行われる。一方、ステップSA2の判断結果が「Yes」である場合、ステップSA3では、会員管理データベース100が参照され、上記会員IDおよびパスワードに基づいて、認証処理が実行される。

【0059】

ステップSA4では、認証結果がOKであるか否かが判断され、この判断結果が「No」である場合、ステップSA1の判断が行われる。一方、ステップSA4の判断結果が「Yes」である場合、ステップSA5の判断が行われる。ステップSA5では、送り主により送り主専用画面ボタン205が押下されたか否かが判断され、この判断結果が「No」である場合、ステップSA6の判断が行われる。

【0060】

ステップSA6では、受取主により受取主専用画面ボタン206が押下されたか否かが判断され、この判断結果が「No」である場合、ステップSA7の判断が行われる。ステップSA7では、終了ボタン207が押下されたか否かが判断され、この判断結果が「No」である場合、ステップSA5の判断が行われる。一方、ステップSA7の判断結果が「Yes」である場合、ステップSA1の判断が行われる。

【0061】

ここで、会員希望者によりクライアントを介して会員登録ボタン204が押下

されると、主制御部 5 3 は、ステップ S A 1 の判断結果を「Y e s」として、ステップ S A 8 の会員登録処理を実行する。具体的には、主制御部 5 3 は、図 1 2 に示した会員登録画面 2 1 0 を会員希望者のクライアントの出力部に表示させる。

【 0 0 6 2 】

これにより、会員希望者は、会員登録画面 2 1 0 の会員情報入力欄 2 1 1、ベストギフト公開フラグ設定欄 2 1 2 およびワーストギフト公開フラグ設定欄 2 1 3 のそれぞれに情報を入力する。これらの会員情報入力欄 2 1 1 ~ ワーストギフト公開フラグ設定欄 2 1 3 のそれぞれの情報は、図 2 (a) に示した会員管理データベース 1 0 0 の各フィールド（但し、パスワードを除く）に対応している。そして、登録ボタン 2 1 4 が押下されると、主制御部 5 3 は、入力された情報を会員管理データベース 1 0 0（図 2 (a) 参照）に格納する。

【 0 0 6 3 】

つぎに、送り主がギフトを注文する場合について説明する。この場合、送り主は、送り主側クライアント 1 0₁ を操作することにより、図 1 1 に示した I D 入力欄 2 0 1 およびパスワード入力欄 2 0 2 に会員 I D およびパスワードを入力した後、ログインボタン 2 0 3 を押下する。これにより、主制御部 5 3 は、ステップ S A 2 の判断結果を「Y e s」とする、ステップ S A 3 では、主制御部 5 3 は、認証処理を実行する。ステップ S A 4 では、主制御部 5 3 は、認証結果が O K であるか否かを判断し、この場合、同判断結果を「Y e s」とする。

【 0 0 6 4 】

そして、送り主により送り主専用画面ボタン 2 0 5 が押下されると、主制御部 5 3 は、ステップ S A 5 の判断結果を「Y e s」とする。ステップ S A 9 では、送り主関連制御部 5 4 は、ギフト注文処理を実行する。すなわち、図 5 に示したステップ S B 1 では、送り主関連制御部 5 4 は、送り主により、ギフトの受取主が指定されたか否かが判断され、この判断結果が「N o」である場合、同判断を繰り返す。

【 0 0 6 5 】

ここで、送り主により受取主が指定されると、送り主関連制御部 5 4 は、ステ

ップSB1の判断結果を「Yes」とする。受取主の指定方法としては、Webサイト60に表示される受取主の一覧の中から指定する方法が挙げられる。ステップSB2では、送り主関連制御部54は、会員管理データベース100から受取主の会員IDを検索する。

【0066】

ステップSB3では、送り主関連制御部54は、会員管理データベース100における当該受取主（会員）の公開フラグ（ベストギフト公開フラグ、ワーストギフト公開フラグ）が「Yes」であるか否かを判断し、この判断結果が「No」である場合、ステップSB5の処理を実行する。一方、ステップSB3の判断結果が「Yes」である場合、ステップSB4では、送り主関連制御部54は、ギフト変更管理データベース130（図3（a）参照）から受取主IDを検索する。

【0067】

ステップSB5では、送り主関連制御部54は、送り主側クライアント10₁の出力部18₁に、図13に示した選択画面220を表示させる。この選択画面220には、一般ギフト一覧参照ボタン221およびベスト／ワーストギフト一覧参照ボタン222が表示されている。ステップSB6では、送り主関連制御部54は、一般ギフト一覧参照ボタン221が押下されたか否かを判断し、この判断結果が「Yes」である場合、ステップSB11の処理を実行する。

【0068】

一方、ステップSB6の判断結果が「No」である場合、ステップSB7では、送り主関連制御部54は、ベスト／ワーストギフト一覧参照ボタン222が押下されたか否かを判断し、この判断結果が「No」である場合、ステップSB6の判断を行う。ここで、ベスト／ワーストギフト一覧参照ボタン222が押下されると、送り主関連制御部54は、ステップSB7の判断結果を「Yes」とする。

【0069】

ステップSB8では、送り主関連制御部54は、図14に示したベスト／ワーストギフト一覧画面230を送り主側クライアント10₁の出力部18₁に表示

させる。このベスト／ワーストギフト一覧画面 2 3 0 には、受取主（同図では、赤坂 太郎）に関する前述したベストギフトおよびワーストギフトに関するベストギフト情報 2 3 1 およびワーストギフト情報 2 3 2 が表示されている。

【 0 0 7 0 】

これらのベストギフト情報 2 3 1 およびワーストギフト情報 2 3 2 は、図 3（a）に示したギフト変更管理データベース 1 3 0 における当該受取主に関するギフト変更管理情報から生成される。すなわち、「元商品 I D」に対応するギフトは、受取主の嗜好に合わないものとみなすことができるため、ワーストギフトとされる。一方、「新商品 I D」に対応するギフトは、受取主の嗜好に合うものとみなすことができるため、ベストギフトとされる。ワーストギフトおよびベストギフトの順位は、「元商品 I D」の出現回数の多い順および「新商品 I D」の出現回数の多い順により決定される。

【 0 0 7 1 】

送り主は、ベスト／ワーストギフト一覧画面 2 3 0 により、受取主に適したギフト、適さないギフトを把握することができる。ステップ S B 9 では、送り主関連制御部 5 4 は、ベストギフト選択ボタン 2 3 3 が押下されたか否かを判断し、この判断結果が「N o」である場合、ステップ S B 1 0 の判断を行う。ステップ S B 1 0 では、送り主関連制御部 5 4 は、一般ギフト選択ボタン 2 3 4 が押下されたか否かを判断し、この判断結果が「N o」である場合、ステップ S B 9 の判断を行う。

【 0 0 7 2 】

ここで、一般ギフト選択ボタン 2 3 4 が押下されると、送り主関連制御部 5 4 は、ステップ S B 1 0 の判断結果を「Y e s」として、ステップ S B 1 1 の処理を実行する。なお、一般ギフト一覧参照ボタン 2 2 1（図 1 3 参照）が押下されると、送り主関連制御部 5 4 は、ステップ S B 6 の判断結果を「Y e s」として、ステップ S B 1 1 の処理を実行する。

【 0 0 7 3 】

ステップ S B 1 1 では、送り主関連制御部 5 4 は、ギフト商品データベース 1 1 0 から任意の情報を抽出するという一般ギフト検索処理を実行する。ここでい

う一般ギフトとは、受取主の嗜好との関連性の有無に係わらないギフトをいう。ステップSB12では、送り主関連制御部54は、検索された一般ギフトの情報に基づいて、送り主側クライアント10₁の出力部18₁に図15に示した一般ギフト一覧画面240を表示させる。

【0074】

この一般ギフト一覧画面240には、選択チェックボックス、商品ID、価格、詳細ボタン241₁、241₂等が表示されている。ステップSB13では、送り主関連制御部54は、詳細ボタンが押下されたか否かを判断し、この判断結果が「No」である場合、ステップSB15の判断を行う。ここで、A店-飲料詰合せの詳細情報を表示するための詳細ボタン241₁が押下されると、送り主関連制御部54は、ステップSB13の判断結果を「Yes」とする。

【0075】

ステップSB14では、送り主関連制御部54は、ギフト商品データベース110（図2（b）参照）の「仕様」、「サムネイルファイル」および「価格」に基づいて、図15に示した詳細情報画面243を送り主側クライアント10₁の出力部18₁に表示させる。

【0076】

この詳細情報画面243には、A店-飲料詰合せに関するサムネイル画像244、価格、仕様245が表示されている。ステップSB15では、送り主関連制御部54は、ギフト選択ボタン（ギフト選択ボタン246、242）が押下されたか否かを判断し、この判断結果が「No」である場合、ステップSB13の判断を行う。

【0077】

一方、図14に示したベストギフト選択ボタン233が押下されると、送り主関連制御部54は、ステップSB9の判断結果を「Yes」とする。ステップSB17では、送り主関連制御部54は、ベストギフト情報231をキーとして、ギフト商品データベース110（図2（b）参照）内を検索し、ベストギフトの情報を抽出する。

【0078】

ステップ S B 1 8 では、送り主関連制御部 5 4 は、ベストギフトの情報に基づいて、送り主側クライアント 1 0₁ の出力部 1 8₁ に図 1 6 に示したベストギフト一覧画面 2 5 0 を表示させる。このベストギフト一覧画面 2 5 0 には、一般ギフト一覧画面 2 4 0（図 1 5 参照）と同様にして、選択チェックボックス、商品 I D、価格、詳細ボタン 2 5 1₁、2 5 1₂ 等が表示されている。ただし、ベストギフト一覧画面 2 5 0 に表示されている商品 I D は、受取主が好むギフトに関するものであるため、贈って喜ばれる可能性が非常に高いギフトに関するものである。

【 0 0 7 9 】

ステップ S B 1 3 では、送り主関連制御部 5 4 は、詳細ボタンが押下されたか否かを判断し、この判断結果が「N o」である場合、ステップ S B 1 5 の判断を行う。ここで、A 店ーワインセットの詳細情報を表示するための詳細ボタン 2 5 1₁ が押下されると、送り主関連制御部 5 4 は、ステップ S B 1 3 の判断結果を「Y e s」とする。

【 0 0 8 0 】

ステップ S B 1 4 では、送り主関連制御部 5 4 は、図 1 6 に示した詳細情報画面 2 5 3 を送り主側クライアント 1 0₁ の出力部 1 8₁ に表示させる。この詳細情報画面 2 5 3 には、A 店ーワインセットに関するサムネイル画像 2 5 4、価格、仕様 2 5 5 が表示されている。

【 0 0 8 1 】

ステップ S B 1 5 では、送り主関連制御部 5 4 は、ギフト選択ボタン（この場合、ギフト選択ボタン 2 5 2、2 5 6）が押下されたか否かを判断し、この判断結果が「N o」である場合、ステップ S B 1 3 の判断を行う。ここで、ギフト選択ボタン 2 5 6 が押下されると、送り主関連制御部 5 4 は、ステップ S B 1 5 の判断結果を「Y e s」とする。

【 0 0 8 2 】

ステップ S B 1 6 では、送り主関連制御部 5 4 は、ギフト注文情報に関するギフト注文情報入力画面（図示略）を送り主側クライアント 1 0₁ の出力部 1 8₁ に表示させる。ギフト注文情報は、図 2（c）に示した選択したギフト（この場

合、ベストギフト)に関する情報、受取主に関する情報、種別、個数、配送予定日等である。

【 0 0 8 3 】

そして、ギフト注文情報入力画面の注文ボタン(図示略)が押下されると、送り主関連制御部54は、ギフト注文情報を図2(c)に示したギフト管理データベース120に格納する。また、送り主関連制御部54は、当該ギフトの注文を受け付ける。これにより、メール送受信制御部57は、例えば、販売者側クライアント40₁へ注文情報を電子メールで送信する。販売者側では、注文されたギフトの確保、配送手配、決済等の一連の処理を実行する。

【 0 0 8 4 】

また、メール送受信制御部57は、受取主のメールアドレス宛に、送り主からのギフトの注文があった旨を電子メールにて通知する。なお、受取主にメールアドレスが付与されていない場合には、郵便等の手段によりギフトの注文があった旨が受取主に通知される。

【 0 0 8 5 】

そして、上記通知を受けた受取主は、例えば、受取主側クライアント30₁を操作することにより、サーバ50にアクセスする。これにより、受取主側クライアント30₁の出力部(図示略)には、図11に示したトップ画面200が表示される。以後、受取主は、前述した送り主の場合と同様にして、会員ID/パスワードの認証を受けた後、受取主専用画面ボタン206を押下する。なお、一実施の形態では、送り主からギフトの注文を受け付けた際に、必ずしも受取主に通知を行う必要が無く、受取主が適宜自分宛のギフトがあるか否かを確認するようにしてもよい。

【 0 0 8 6 】

これにより、主制御部53は、図4に示したステップSA6の判断結果を「Yes」とする。ステップSA10では、受取主関連制御部55は、受取主が当該ギフトに関する情報を確認するためのギフト確認処理を実行する。すなわち、図6に示したステップSC1では、受取主関連制御部55は、当該受取主の受取主IDをキーとして、ギフト管理データベース120を検索し、当該受取主に対応

するギフト管理情報を取得する。なお、一実施の形態では、送り主からギフト注文を受けた際に、必ずしも受取主に通知を行う必要はなく、受取主が適宜、自分宛のギフトがあるか否かを確認するようにしてもよい。

【0087】

ステップSC2では、受取主関連制御部55は、当該受取主に対応するギフト管理情報に基づいて、図17に示したギフト一覧画面260を受取主側クライアント30₁の出力部に表示させる。このギフト一覧画面260は、当該受取主（この場合、赤坂 太郎）に贈られたギフトの一覧が表示されている。同図に示した例では、3名の送り主（大阪 花子、松本 和夫、博多 次郎）が受取主（赤坂 太郎）へそれぞれギフトを贈っていることがわかる。

【0088】

ギフト情報261₁は、送り主（大阪 花子）に対応する、ギフト種別：お中元、商品ID：A店－飲料詰合せ、配送予定日という情報からなる。礼状受付ボタン262₁は、受取主（赤坂 太郎）から送り主（大阪 花子）への礼状の受け付けを行うためのボタンである。

【0089】

ギフト変更ボタン263₁は、送り主（大阪 花子）からのギフト（A店－飲料詰合せ）を別のギフトに変更するためのボタンである。配送予定日変更ボタン264₁は、受取主（赤坂 太郎）の都合に合わせて、当該ギフトの配送予定日を変更するためのボタンである。受領拒否ボタン265₁は、受取主（赤坂 太郎）の都合により、送り主（大阪 花子）からのギフトの受領を拒否するためのボタンである。

【0090】

また、ギフト情報261₂は、送り主（松本 和夫）に対応する、ギフト種別：お祝い、商品ID：A店－極上のり、配送予定日という情報からなる。礼状受付ボタン262₂は、受取主（赤坂 太郎）から送り主（松本 和夫）への礼状の受け付けを行うためのボタンである。

【0091】

ギフト変更ボタン263₂は、送り主（松本 和夫）からのギフト（A店－極

上のり)を別のギフトに変更するためのボタンである。配送予定日変更ボタン264₂は、受取主(赤坂 太郎)の都合に合わせて、当該ギフトの配送予定日を変更するためのボタンである。受領拒否ボタン265₂は、受取主(赤坂 太郎)の都合により、送り主(松本 和夫)からのギフトの受領を拒否するためのボタンである。

【0092】

また、ギフト情報261₃は、送り主(博多 次郎)に対応する、ギフト種別:お中元、商品ID:C店-そうめんセット、配送予定日という情報からなる。礼状受付ボタン262₃は、受取主(赤坂 太郎)から送り主(博多 次郎)への礼状の受け付けを行うためのボタンである。

【0093】

ギフト変更ボタン263₃は、送り主(博多 次郎)からのギフト(C店-そうめんセット)を別のギフトに変更するためのボタンである。配送予定日変更ボタン264₃は、受取主(赤坂 太郎)の都合に合わせて、当該ギフトの配送予定日を変更するためのボタンである。受領拒否ボタン265₃は、受取主(赤坂 太郎)の都合により、送り主(博多 次郎)からのギフトの受領を拒否するためのボタンである。終了ボタン266は、ギフト確認処理を終了するためのボタンである。明細画面ボタン267は、ギフトの明細情報に関する明細画面を表示するためのボタンである。

【0094】

以後、受取主関連制御部55は、図6に示したステップSC3～ステップSC8のそれぞれの判断を行う。すなわち、ステップSC3では、図17に示した礼状受付ボタン(礼状受付ボタン262₁～262₃)が押下されたか否かが判断され、この判断結果が「No」である場合、ステップSC4の判断が行われる。ステップSC4では、ギフト変更ボタン(ギフト変更ボタン263₁～263₃)が押下されたか否かが判断され、この判断結果が「No」である場合、ステップSC5の判断が行われる。

【0095】

ステップSC5では、配送予定日変更ボタン(配送予定日変更ボタン264₁

～264₃）が押下されたか否かが判断され、この判断結果が「N o」である場合、ステップSC 6の判断が行われる。ステップSC 6では、受領拒否ボタン（受領拒否ボタン265₁～265₃）が押下されたか否かが判断され、この判断結果が「N o」である場合、ステップSC 7の判断が行われる。ステップSC 7では、明細画面ボタン267が押下されたか否かが判断され、この判断結果が「N o」である場合、ステップSC 8の判断が行われる。ステップSC 8では、終了ボタン266が押下されたか否かが判断され、この判断結果が「N o」である場合、ステップSC 3の判断が行われる。

【0096】

ここで、受取主（赤坂 太郎）により、図17に示した礼状受付ボタン262₁が押下されると、受取主関連制御部55は、ステップSC 3の判断結果を「Y e s」とする。ステップSC 9では、受取主関連制御部55は、礼状受付処理を実行する。

【0097】

すなわち、図7に示したステップSD 1では、受取主関連制御部55は、図3（b）に示した礼状／受領拒否状定型文データベース140から礼状に対応する定型文データを抽出した後、定型文データに基づいて、図18に示した礼状編集画面270を受取主側クライアント30₁の出力部に表示させる。この礼状編集画面270は、複数の定型文271の中から、送り主（大阪 花子）への礼状（お中元）に記載される定型文を選択するための画面である。複数の定型文271は、図3（b）に示した礼状／受領拒否状定型文データベース140の「定型文データ」に対応している。

【0098】

ステップSD 2では、受取主関連制御部55は、定型文のチェックボックスがチェックされた後、定型文選択ボタン272が押下されたか否かを判断し、この判断結果が「N o」である場合、同判断を繰り返す。そして、受取主（赤坂 太郎）により、同図に示した「タイプ1：この度は結構なお品を頂戴し・・・」という定型文のチェックボックスがチェックされた後、定型文選択ボタン272が押下されると、受取主関連制御部55は、ステップSD 2の判断結果を「Y e s

」とする。

【 0 0 9 9 】

ステップ S D 3 では、受取主関連制御部 5 5 は、受取主側クライアント 3 0₁ の出力部に図 1 9 に示した確認画面 2 8 0 を表示させる。この確認画面 2 8 0 は、ステップ S D 2 で選択された定型文に基づいて作成された礼状の文面を確認するための画面である。ここでは、表示された定型文に対して、例えば、図中の斜体文字で示したような編集を行うこともできる。ステップ S D 4 では、受取主関連制御部 5 5 は、受取主（赤坂 太郎）により、確定ボタン 2 8 1 が押下されたか否かを判断し、この判断結果が「N o」である場合、同判断を繰り返す。

【 0 1 0 0 】

ここで、確定ボタン 2 8 1 が押下されると、受取主関連制御部 5 5 は、ステップ S D 4 の判断結果を「Y e s」とする。ステップ S D 5 では、受取主関連制御部 5 5 は、会員管理データベース 1 0 0 を検索して、送り主（大阪 花子）のメールアドレスが有るか否かを判断する。

【 0 1 0 1 】

この場合、メールアドレスが有るものとする、受取主関連制御部 5 5 は、ステップ S D 5 の判断結果を「Y e s」とする。ステップ S D 6 では、メール送受信制御部 5 7 は、電子メールにて、確認画面 2 8 0 により確認された礼状を送り主側クライアント（大阪 花子）へ送付する。一方、ステップ S D 5 の判断結果が「N o」である場合、ステップ S D 8 では、郵便にて当該礼状が送付される。

【 0 1 0 2 】

ステップ S D 7 では、受取主関連制御部 5 5 は、図 2（c）に示したギフト管理データベース 1 2 0 の「礼状／受領拒否状 I D」に情報を格納し、ギフト管理データベース 1 2 0 を更新する。

【 0 1 0 3 】

つぎに、受取主（赤坂 太郎）により、図 1 7 に示した配送予定日変更ボタン 2 6 4₁ が押下されると、受取主関連制御部 5 5 は、図 6 に示したステップ S C 5 の判断結果を「Y e s」とする。ステップ S C 1 1 では、受取主関連制御部 5 5 は、配送予定日変更処理を実行する。すなわち、図 9 に示したステップ S F 1

では、受取主関連制御部55は、図20に示した配送予定日変更画面290を受取主側クライアント30₁の出力部に表示させる。

【0104】

この配送予定日変更画面290は、受取主（赤坂 太郎）の都合に合わせて、送り主（大阪 花子）からのギフト（A店－飲料詰合せ）の配送予定日を変更するための画面である。ステップSF2では、受取主関連制御部55は、確定ボタン292が押下されたか否かを判断し、この判断結果が「No」である場合、同判断を繰り返す。

【0105】

ここで、受取主（赤坂 太郎）により、「配送予定日をつぎの日付に変更する」のチェックボックスがチェックされるとともに、変更後配送予定日入力欄291に「2000/09/30」と入力された後、確定ボタン292が押下されると、受取主関連制御部55は、ステップSF2の判断結果を「Yes」とする。つまり、受取主（赤坂 太郎）は、当該ギフトの配送予定日を「2000/07/15」から「2000/09/30」に変更したのである。

【0106】

ステップSF3では、受取主関連制御部55は、ギフト管理データベース120（図2（c）参照）の「配送予定日」に、変更後の配送予定日の情報を格納する。ステップSF4では、受取主関連制御部55は、図17に示したギフト一覧画面260を更新し、受取主側クライアント30₁の出力部に図21に示したギフト一覧画面260Aを表示させる。このギフト一覧画面260Aにおいては、ギフト情報261A₁の「配送予定日」（同図網掛け部分）が更新されている。

【0107】

また、配送予定日を無期限に延長する場合、受取主（赤坂 太郎）は、図20に示した「配送日予定日を指定しない」のチェックボックスをチェックした後、確定ボタン292を押下する。この場合、当該ギフトは、配送予定日が再指定されるまで、データ上保留される。また、図2（c）に示したギフト管理データベース120の「配送予定日」には、配送予定日の無期限延長を意味する「－」マークが格納される。

【0108】

つぎに、受取主（赤坂 太郎）は、図21に示した送り主（松本 和夫）からのギフト（商品ID：A店一極上のり）を別のギフトに変更すべく、図21に示したギフト変更ボタン263₂を押下する。これにより、受取主関連制御部55は、図6に示したステップSC4の判断結果を「Yes」とする。ステップSC10では、受取主関連制御部55は、ギフト変更処理を実行する。

【0109】

すなわち、図8に示したステップSE1では、受取主関連制御部55は、当該ギフトの価格をキーとして、変更可能商品（ギフト）をギフト商品データベース110から検索する。変更可能商品は、当該ギフトと同一の価格帯のものである。ステップSE2では、受取主関連制御部55は、図22に示したギフト変更画面300を受取主側クライアント30₁の出力部に表示させる。

【0110】

このギフト変更画面300には、選択チェックボックス、変更可能商品に関する商品ID、価格、詳細ボタン301₁、301₂等が表示されている。この詳細ボタン301₁が押下されると、受取主関連制御部55は、ギフト商品データベース110（図2（b）参照）の「仕様」、「サムネイルファイル」および「価格」に基づいて、変更可能商品に関する詳細情報画面303を受取主側クライアント30₁の出力部に表示させる。

【0111】

この詳細情報画面303には、A店一ワインセットに関するサムネイル画像304、価格、仕様305が表示されている。ステップSE3では、受取主関連制御部55は、選択ボタン（選択ボタン302、306）が押下されたか否かを判断し、この判断結果が「No」である場合、同判断を繰り返す。ここで、選択ボタン306が押下されると、受取主関連制御部55は、ステップSE3の判断結果を「Yes」とする。

【0112】

ステップSE4では、受取主関連制御部55は、ギフト変更確認画面（図示略）を受取主側クライアント30₁の出力部に表示させる。このギフト変更確認画

面には、変更後のギフトに関する情報および登録ボタンが表示されている。ステップ S E 5 では、受取主関連制御部 5 5 は、上記登録ボタンが押下されたか否かを判断し、この判断結果が「N o」である場合、同判断を繰り返す。ここで、受取主（赤坂 太郎）により、登録ボタンが押下されると、受取主関連制御部 5 5 は、ステップ S E 5 の判断結果を「Y e s」とする。

【 0 1 1 3 】

ステップ S E 6 では、受取主関連制御部 5 5 は、図 3（a）に示したギフト変更管理データベース 1 3 0 に上記変更に伴う情報を登録する。また、受取主関連制御部 5 5 は、図 2（c）に示したギフト管理データベース 1 2 0 を更新する。ステップ S E 7 では、受取主関連制御部 5 5 は、図 2 1 に示したギフト一覧画面 2 6 0 A を更新し、受取主側クライアント 3 0₁ の出力部に図 2 3 に示したギフト一覧画面 2 6 0 B を表示させる。このギフト一覧画面 2 6 0 B においては、ギフト情報 2 6 1 B₂ の「商品 I D」（同図網掛け部分）が「A 店ーワインセット」に更新されている。

【 0 1 1 4 】

つぎに、受取主（赤坂 太郎）は、図 2 3 に示した送り主（博多 次郎）からのギフトの受領を拒否すべく、受領拒否ボタン 2 6 5₃ を押下する。これにより、受取主関連制御部 5 5 は、図 6 に示したステップ S C 6 の判断結果を「Y e s」とする。ステップ S C 1 2 では、受取主関連制御部 5 5 は、受領拒否処理を実行する。

【 0 1 1 5 】

すなわち、図 1 0 に示したステップ S G 1 では、受取主関連制御部 5 5 は、図 3（b）に示した礼状／受領拒否状定型文データベース 1 4 0 から受領拒否状に対応する定型文データを抽出した後、定型文データに基づいて、図 2 4 に示した受領拒否状編集画面 3 1 0 を受取主側クライアント 3 0₁ の出力部に表示させる。この受領拒否状編集画面 3 1 0 は、複数の定型文 3 1 1 の中から、送り主（博多 次郎）への受領拒否状（返却）に記載される定型文を選択するための画面である。複数の定型文 3 1 1 は、図 3（b）に示した礼状／受領拒否状定型文データベース 1 4 0 の「定型文データ」に対応している。

【 0 1 1 6 】

ステップ S G 2 では、受取主関連制御部 5 5 は、定型文のチェックボックスがチェックされた後、定型文選択ボタン 3 1 2 が押下されたか否かを判断し、この判断結果が「N o」である場合、同判断を繰り返す。そして、受取主（赤坂 太郎）により、同図に示した「タイプ 2：この品物は受け取れませんので・・・」という定型文のチェックボックスがチェックされた後、定型文選択ボタン 3 1 2 が押下されると、受取主関連制御部 5 5 は、ステップ S G 2 の判断結果を「Y e s」とする。

【 0 1 1 7 】

ステップ S G 3 では、受取主関連制御部 5 5 は、受取主側クライアント 3 0₁ の出力部に図 2 5 に示した確認画面 3 2 0 を表示させる。この確認画面 3 2 0 は、ステップ S G 2 で選択された定型文に基づいて作成された受領拒否状の文面を確認するための画面である。ここでは、表示された定型文に対して、編集を行うこともできる。ステップ S G 4 では、受取主関連制御部 5 5 は、受取主（赤坂 太郎）により、確定ボタン 3 2 1 が押下されたか否かを判断し、この判断結果が「N o」である場合、同判断を繰り返す。

【 0 1 1 8 】

ここで、確定ボタン 3 2 1 が押下されると、受取主関連制御部 5 5 は、ステップ S G 4 の判断結果を「Y e s」とする。ステップ S G 5 では、受取主関連制御部 5 5 は、会員管理データベース 1 0 0 を検索して、送り主（博多 次郎）のメールアドレスが有るか否かを判断する。

【 0 1 1 9 】

この場合、メールアドレスが有るものとする、受取主関連制御部 5 5 は、ステップ S G 5 の判断結果を「Y e s」とする。ステップ S G 6 では、メール送受信制御部 5 7 は、電子メールにて、確認画面 3 2 0 により確認された受領拒否状を送り主側クライアント（博多 次郎）へ送付する。一方、ステップ S G 5 の判断結果が「N o」である場合、ステップ S G 8 では、郵便にて当該受領拒否状が送付される。

【 0 1 2 0 】

ステップSG7では、受取主関連制御部55は、図2(c)に示したギフト管理データベース120の「礼状／受領拒否状ID」に情報を格納するとともに、「受領拒否フラグ」に「○」マークを格納し、ギフト管理データベース120を更新する。また、受取主関連制御部55は、図23に示したギフト一覧画面260Bを更新し、受取主側クライアント30₁の出力部に図26に示したギフト一覧画面260Cを表示させる。このギフト一覧画面260Cにおいては、ギフト情報261₃（図23参照）が削除されている。

【0121】

最後に、受取主（赤坂 太郎）により、図26に示した明細画面ボタン267が押下されると、受取主関連制御部55は、図6に示したステップSC7の判断結果を「Yes」とする。ステップSC13では、受取主関連制御部55は、図27に示した明細画面330を受取主側クライアント30₁の出力部に表示する。この明細画面330には、ギフト情報および上述した礼状受付、ギフト変更、配送予定日変更、受領拒否等の履歴情報が表示されている。

【0122】

以上説明したように、一実施の形態によれば、受取主に関するギフト変更履歴情報をギフト変更管理データベース130（図3(a)参照）に格納し、ギフト注文時に上記ギフト変更履歴情報を送り主側クライアントへ提供するようにしたので、ギフト変更履歴情報に基づいて受取主の嗜好の傾向を把握することができるため、不要なギフトを贈るという無駄を回避させ、ギフトの送り主、受取主および販売者の利便性、経済性を向上させることができる。

【0123】

また、一実施の形態によれば、ギフト変更履歴情報に基づいて少なくとも当該受取主に適したベストギフト情報をギフト注文時に送り主側クライアントに提供するようにしたので、受取主が好むギフトを把握することができるため、不要なギフトを贈るという無駄を回避させ、ギフトの送り主、受取主および販売者の利便性、経済性を向上させることができる。

【0124】

また、一実施の形態によれば、ギフト変更履歴情報に基づいて少なくとも当該

受取主に適さないワーストギフト情報をギフト注文時に送り主側クライアントに提供するようにしたので、受取主が好まないギフトを把握することができるため、不要なギフトを贈るという無駄を回避させ、ギフトの送り主、受取主および販売者の利便性、経済性を向上させることができる。

【 0 1 2 5 】

また、一実施の形態によれば、受取主から送り主への礼状を受け付け、この礼状を電子メールまたは郵便により送り主側クライアント（送り主）へ送付するようにしたので、受取主の利便性を向上させることができる。

【 0 1 2 6 】

また、一実施の形態によれば、送り主からのギフトの受領を拒否するための受領拒否状を受け付け、この受領拒否状を電子メールまたは郵便により送り主側クライアント（送り主）へ送付するようにしたので、受取主が確かに当該ギフトを受領しなかったことが電子的に記録され管理できるとともに、受取拒否に伴う受取主の精神的負担を軽減することができ、さらに無駄な配送を回避することができる。

【 0 1 2 7 】

以上本発明にかかる一実施の形態について図面を参照して詳述してきたが、具体的な構成例はこの一実施の形態に限られるものではなく、本発明の要旨を逸脱しない範囲の設計変更等があっても本発明に含まれる。例えば、前述した一実施の形態においては、サーバ 5 0 の機能を実現するためのギフト仲介プログラムを図 2 8 に示したコンピュータ読み取り可能な記録媒体 5 0 0 に記録して、この記録媒体 5 0 0 に記録されたギフト仲介プログラムを同図に示したコンピュータ 4 0 0 に読み込ませ、実行することによりサーバ 5 0 の機能を実現するようにしてもよい。

【 0 1 2 8 】

図 2 8 に示したコンピュータ 4 0 0 は、上記ギフト仲介プログラムを実行する CPU（Central Processing Unit）4 0 1 と、キーボード、マウス等の入力装置 4 0 2 と、各種データを記憶する ROM（Read Only Memory）4 0 3 と、演算パラメータ等を記憶する RAM 4 0 4 と、記録媒体 5 0 0 からギフト仲介プログ

ラムを読み取る読取装置 4 0 5 と、ディスプレイ、プリンタ等の出力装置 4 0 6 と、装置各部を接続するバス B U とから構成されている。

【 0 1 2 9 】

C P U 4 0 1 は、読取装置 4 0 5 を経由して記録媒体 5 0 0 に記録されているギフト仲介プログラムを読み込んだ後、ギフト仲介プログラムを実行することにより、前述したサーバ 5 0 の機能を実現する。なお、記録媒体 5 0 0 には、光ディスク、フロッピーディスク、ハードディスク等の可搬型の記録媒体が含まれることはもとより、ネットワークのようにデータを一時的に記録保持するような伝送媒体も含まれる。

【 0 1 3 0 】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明によれば、受取主に関するギフト変更情報を格納し、ギフト注文時に上記ギフト変更情報を送り主側クライアントへ提供するようにしたので、ギフト変更情報に基づいて受取主の嗜好の傾向を把握することができ、不要なギフトを贈るという無駄を回避させ、ギフトの送り主、受取主および販売者の利便性、経済性を向上させることができるという効果を奏する。

【 0 1 3 1 】

また、本発明によれば、ギフト変更情報に基づいて少なくとも当該受取主に適したベストギフト情報をギフト注文時に送り主側クライアントに提供するようにしたので、受取主が好むギフトを把握することができるため、不要なギフトを贈るという無駄を回避させ、ギフトの送り主、受取主および販売者の利便性、経済性を向上させることができるという効果を奏する。

【 0 1 3 2 】

また、本発明によれば、ギフト変更情報に基づいて少なくとも当該受取主に適さないワーストギフト情報をギフト注文時に送り主側クライアントに提供するようにしたので、受取主が好まないギフトを把握することができるため、不要なギフトを贈るという無駄を回避させ、ギフトの送り主、受取主および販売者の利便性、経済性を向上させることができるという効果を奏する。

【 0 1 3 3 】

また、本発明によれば、受取主から送り主への礼状を受け付け、この礼状を少なくとも電子データとして送り主側クライアントへ送付するようにしたので、受取主の利便性を向上させることができるという効果を奏する。

【0134】

また、本発明によれば、送り主からのギフトの受領を拒否するための受領拒否状を受け付け、この受領拒否状を少なくとも電子データとして送り主側クライアントへ送付するようにしたので、受取主が確かに当該ギフトを受領しなかったことが電子的に記録され管理できるとともに、受取拒否に伴う受取主の精神的負担を軽減することができ、さらに無駄な配送を回避することができるという効果を奏する。

【0135】

また、本発明によれば、ギフト変更情報のうち、当該受取主に適したギフトの情報を受信するようにしたので、受取主が好むギフトを把握することができるため、不要なギフトを贈るという無駄を回避させ、ギフトの送り主、受取主および販売者の利便性、経済性を向上させることができるという効果を奏する。

【0136】

また、本発明によれば、ギフト変更情報のうち、当該受取主に適さないギフトの情報を受信するようにしたので、受取主が好まないギフトを把握することができるため、不要なギフトを贈るという無駄を回避させ、ギフトの送り主、受取主および販売者の利便性、経済性を向上させることができるという効果を奏する。

【0137】

また、本発明によれば、受取主から送り主への礼状を送信する旨の指示情報を送信するようにしたので、礼状送付に関する受取主の利便性を向上させることができるという効果を奏する。

【0138】

また、本発明によれば、送り主からのギフトの受領を拒否する旨の指示情報を送信するようにしたので、受取拒否に伴う受取主の精神的負担を軽減することができ、さらに無駄な配送を回避することができるという効果を奏する。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明にかかる一実施の形態の構成を示すブロック図である。

【図 2】

同一実施の形態における各種データベースのテーブル構造を示す図である。

【図 3】

同一実施の形態における各種データベースのテーブル構造を示す図である。

【図 4】

同一実施の形態の動作を説明するフローチャートである。

【図 5】

図 4 に示したギフト注文処理を説明するフローチャートである。

【図 6】

図 4 に示したギフト確認処理を説明するフローチャートである。

【図 7】

図 6 に示した礼状受付処理を説明するフローチャートである。

【図 8】

図 6 に示したギフト変更処理を説明するフローチャートである。

【図 9】

図 6 に示した配送予定日変更処理を説明するフローチャートである。

【図 1 0】

図 6 に示した受領拒否処理を説明するフローチャートである。

【図 1 1】

同一実施の形態におけるトップ画面 2 0 0 の一例を示す図である。

【図 1 2】

同一実施の形態における会員登録画面 2 1 0 の一例を示す図である。

【図 1 3】

同一実施の形態における選択画面 2 2 0 の一例を示す図である。

【図 1 4】

同一実施の形態におけるベスト／ワーストギフト一覧画面 2 3 0 の一例を示す図である。

【図 1 5】

同一実施の形態における一般ギフト一覧画面 2 4 0 の一例を示す図である。

【図 1 6】

同一実施の形態におけるベストギフト一覧画面 2 5 0 の一例を示す図である。

【図 1 7】

同一実施の形態におけるギフト一覧画面 2 6 0 の一例を示す図である。

【図 1 8】

同一実施の形態における礼状編集画面 2 7 0 の一例を示す図である。

【図 1 9】

同一実施の形態における確認画面 2 8 0 の一例を示す図である。

【図 2 0】

同一実施の形態における配送予定日変更画面 2 9 0 の一例を示す図である。

【図 2 1】

同一実施の形態におけるギフト一覧画面 2 6 0 A の一例を示す図である。

【図 2 2】

同一実施の形態におけるギフト変更画面 3 0 0 の一例を示す図である。

【図 2 3】

同一実施の形態におけるギフト一覧画面 2 6 0 B の一例を示す図である。

【図 2 4】

同一実施の形態における受領拒否状編集画面 3 1 0 の一例を示す図である。

【図 2 5】

同一実施の形態における確認画面 3 2 0 の一例を示す図である。

【図 2 6】

同一実施の形態におけるギフト一覧画面 2 6 0 C の一例を示す図である。

【図 2 7】

同一実施の形態における明細画面 3 3 0 の一例を示す図である。

【図 2 8】

同一実施の形態の変形例を示すブロック図である。

【符号の説明】

1 0₁ ~ 1 0_n 送り主側クライアント

2 0 インターネット

3 0₁ ~ 3 0_m 受取主側クライアント

4 0₁ ~ 4 0_s 販売者側クライアント

5 0 サーバ

5 2 制御部

5 3 主制御部

5 4 送り主関連制御部

5 5 受取主関連制御部

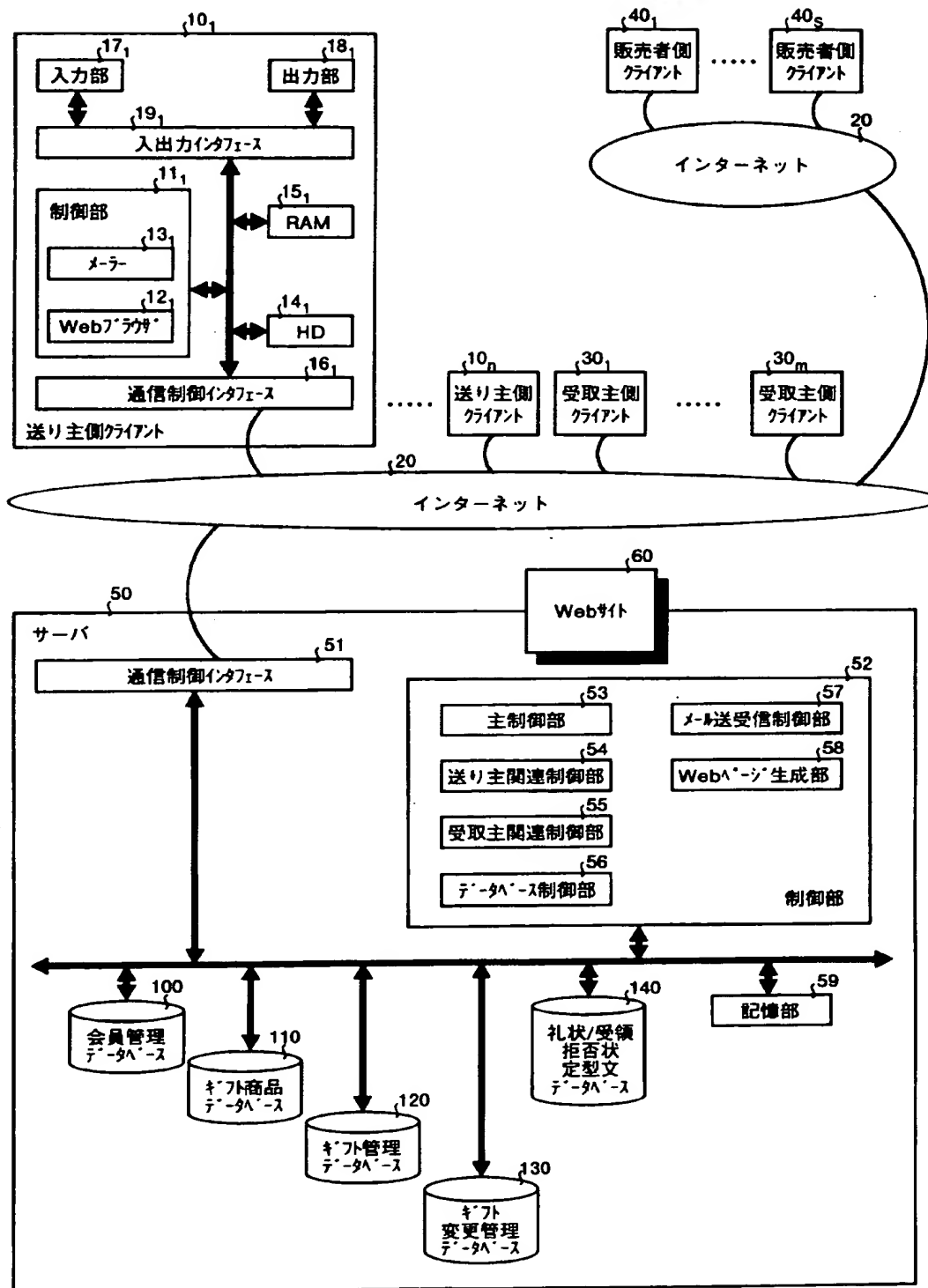
5 6 データベース制御部

5 7 メール送受信制御部

【書類名】 図面

【図 1】

一実施の形態の構成を示すブロック図



【図 2】

一実施の形態における各種データベースのテーブル構造を示す図

(a)

100; 会員管理データベース

会員ID	パスワード	氏名	住所	メールアドレス	カード番号	ハズキ'フト公開フラグ	ワズキ'フト公開フラグ
001	*****	赤坂 太郎	千代田区赤坂1-2-3	taro@xxx.com	12345	YES	YES
002	*****	大阪 花子	大阪市港区4-5-6	-	24680	YES	NO
003	*****	松本 和夫	松本市入山辺7-8-9	kazu@zzz.co.jp	98765	NO	001,002,007のみ
004	*****	博多 次郎	福岡市博多区2-4-6	-	13579	-	-

(b)

110; ギフト商品データベース

商品ID	仕様	サムネイルファイル	価格
A店-飲料詰め合せ	無農薬オレングジ...	A1.gif	3000円
B店-食器セット	フランス製...	B1.gif	5500円
A店-極上のり	10枚セット...	A2.gif	8000円
C店-そうめんセット	5本セット...	C1.gif	1500円

(c)

120; ギフト管理データベース

ギフトID	受取主ID	送り主ID	種別	商品ID	個数	配送予定日	礼状/受領拒否状ID	受領拒否フラグ
2000115	001	002	お中元	A店-飲料詰め合せ	1	2000/7/15	C-01	
2000116	003	002	お中元	B店-食器セット	1	-		
2000117	001	003	お祝い	A店-極上のり	1	2000/7/17		
2000119	001	004	お中元	C店-そうめんセット	1	2000/7/14	X-01	○

【図 3】

一実施の形態における各種データベースのテーブル構造を示す図

(a)

130 ; ギフト変更管理データベース

変更ID	ギフトID	受取主ID	元商品ID	新商品ID	変更日
H01	1999288	001	A店-ビール詰合せ	A店-飲料詰合せ	1999/7/20
H02	1999363	002	C店-万年筆	C店-スカーフ	1999/12/5
H03	2000044	001	A店-極上のり	A店-ワインセット	2000/7/5
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

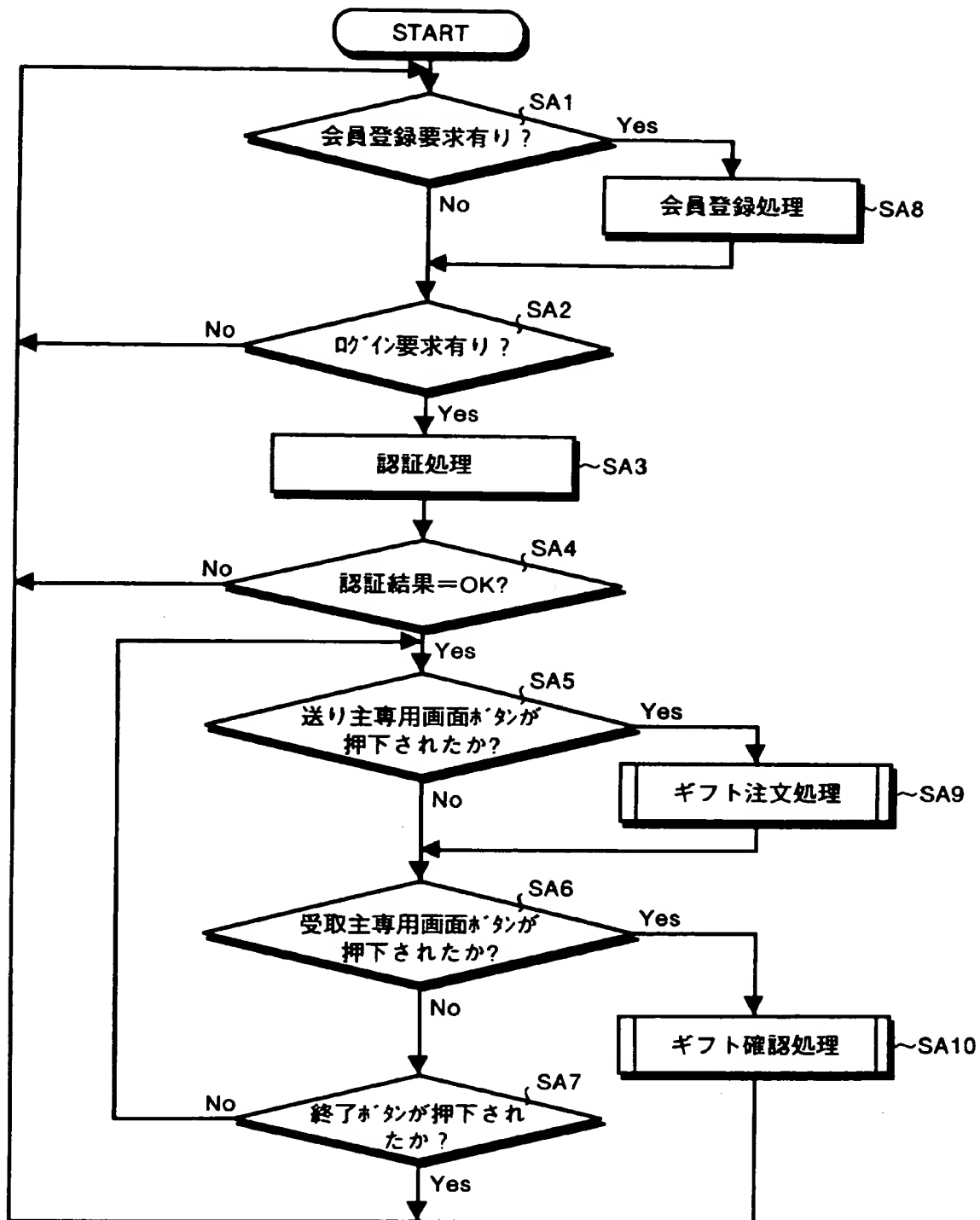
(b)

140 ; 礼状/受領拒否状定型文データベース

種別	礼状/受領拒否状ID	定型文データ
お中元	C-01	この度は結構なお品を頂戴し...
お中元	C-02	いつもお気遣いありがとうございます...
お歳暮	S-01	この度は結構なお品を頂戴し...
お年賀	N-01	新年早々、結構なお品を頂戴し...
お祝い	I-01	思いもかけず、お心遣いを頂き...
返却	X-01	結構なお品を頂戴しましたが...
返却	X-02	この品物は受け取れませんので...
⋮	⋮	⋮

【図 4】

一実施の形態の動作を説明するフローチャート

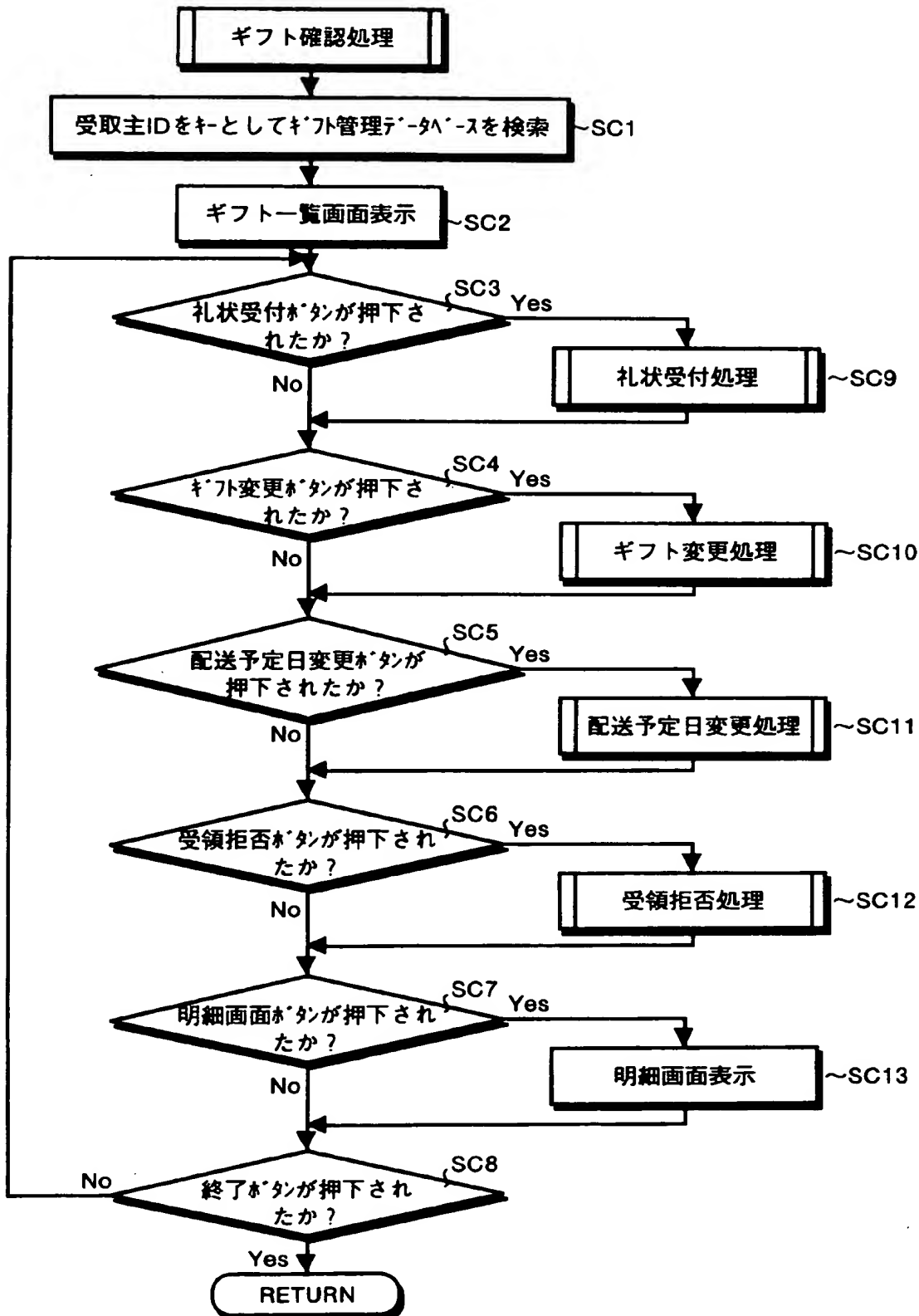


```

graph TD
    Start([START]) --> SB1{SB1 受取主の指定有り?}
    SB1 -- No --> SB12
    SB1 -- Yes --> SB2[SB2 会員管理データベースから受取主の会員IDを検索]
    SB2 --> SB3{SB3 公開フラグ=YES?}
    SB3 -- No --> SB12
    SB3 -- Yes --> SB4[SB4 キット変更管理データベースから受取主の受取主IDを検索]
    SB4 --> SB5[SB5 選択画面表示]
    SB5 --> SB6{SB6 一般キット一覧参照ボタンが押下されたか?}
    SB6 -- Yes --> SB12
    SB6 -- No --> SB7{SB7 アドワースキット一覧参照ボタンが押下されたか?}
    SB7 -- No --> SB12
    SB7 -- Yes --> SB8[SB8 アドワースキット一覧画面表示]
    SB8 --> SB9{SB9 アドワード選択ボタンが押下されたか?}
    SB9 -- Yes --> SB17[SB17 アドワード検索]
    SB9 -- No --> SB10{SB10 一般キット選択ボタンが押下されたか?}
    SB10 -- Yes --> SB11[SB11 一般キット検索処理]
    SB10 -- No --> SB12
    SB17 --> SB18[SB18 アドワード一覧表示]
    SB18 --> SB12
    SB11 --> SB12
    SB12[SB12 一般キット一覧表示] --> SB13{SB13 詳細ボタンが押下されたか?}
    SB13 -- Yes --> SB14[SB14 詳細画面を表示]
    SB13 -- No --> SB15{SB15 キット選択ボタンが押下されたか?}
    SB15 -- Yes --> SB16[SB16 キット注文情報入力処理]
    SB15 -- No --> SB12
    SB16 --> RETURN([RETURN])
  
```

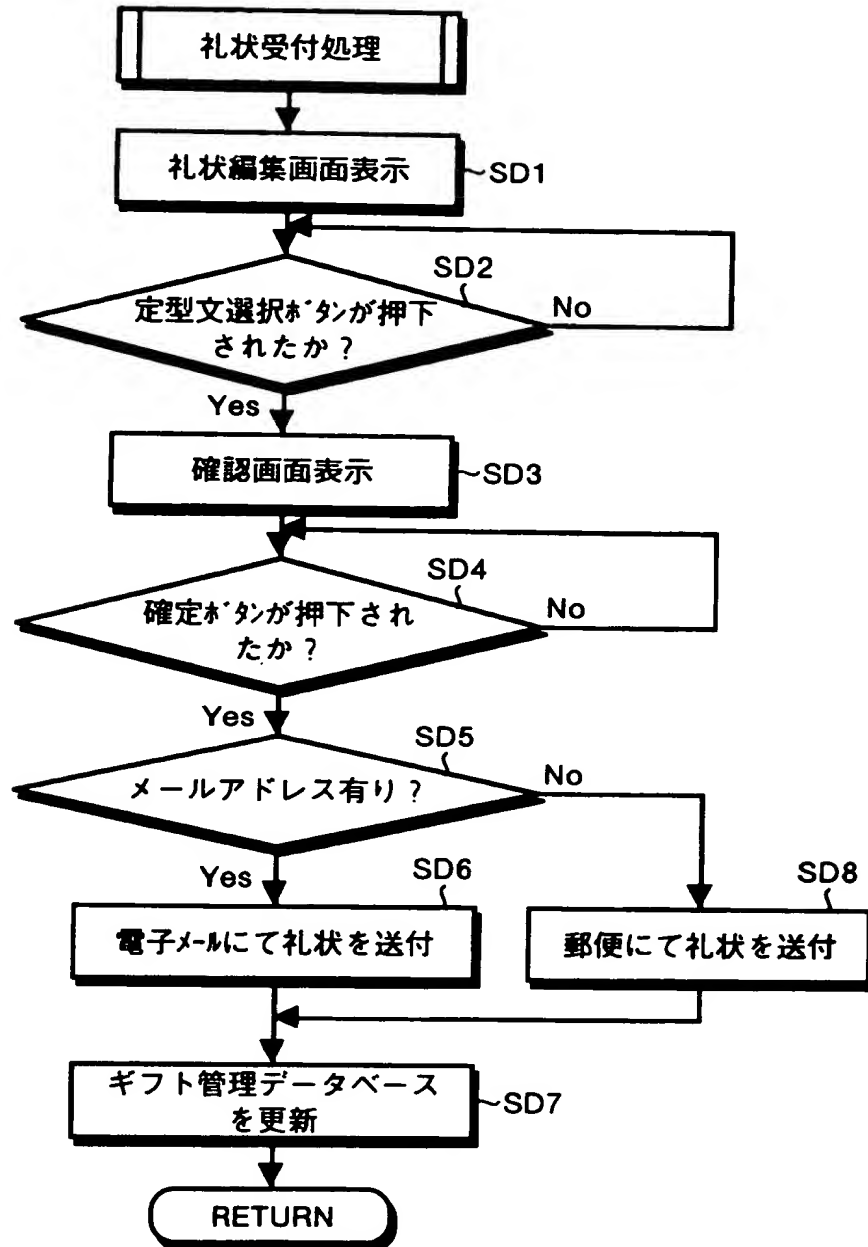
【図 6】

図 4 に示したギフト確認処理を説明するフローチャート



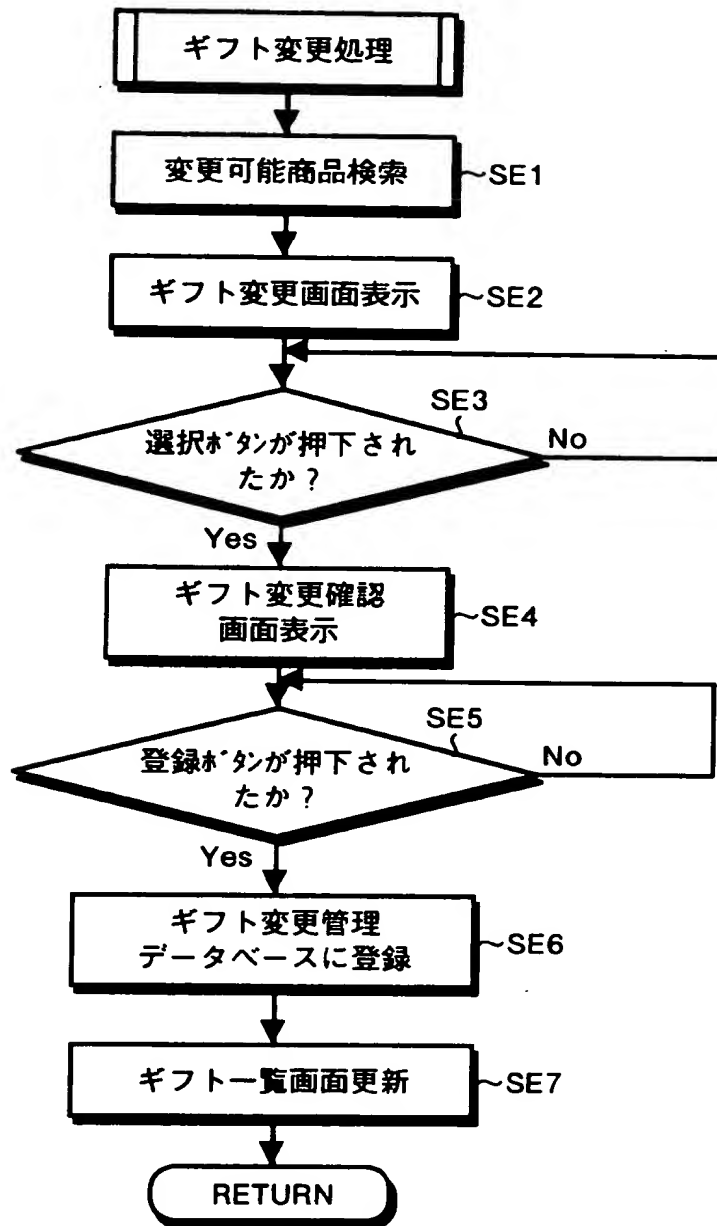
【図 7】

図 6 に示した礼状受付処理を説明するフローチャート



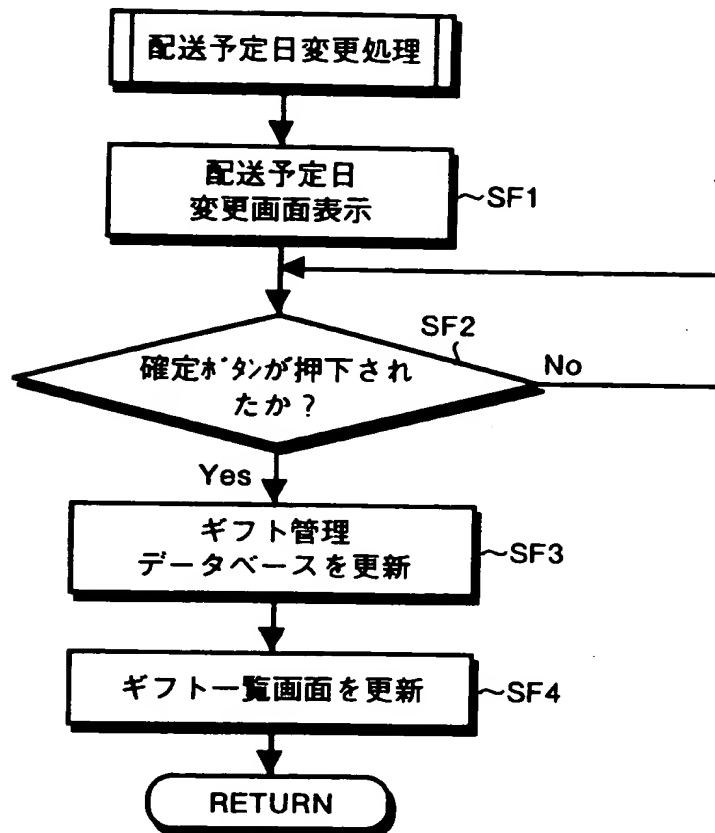
【図 8】

図 6 に示したギフト変更処理を説明するフローチャート



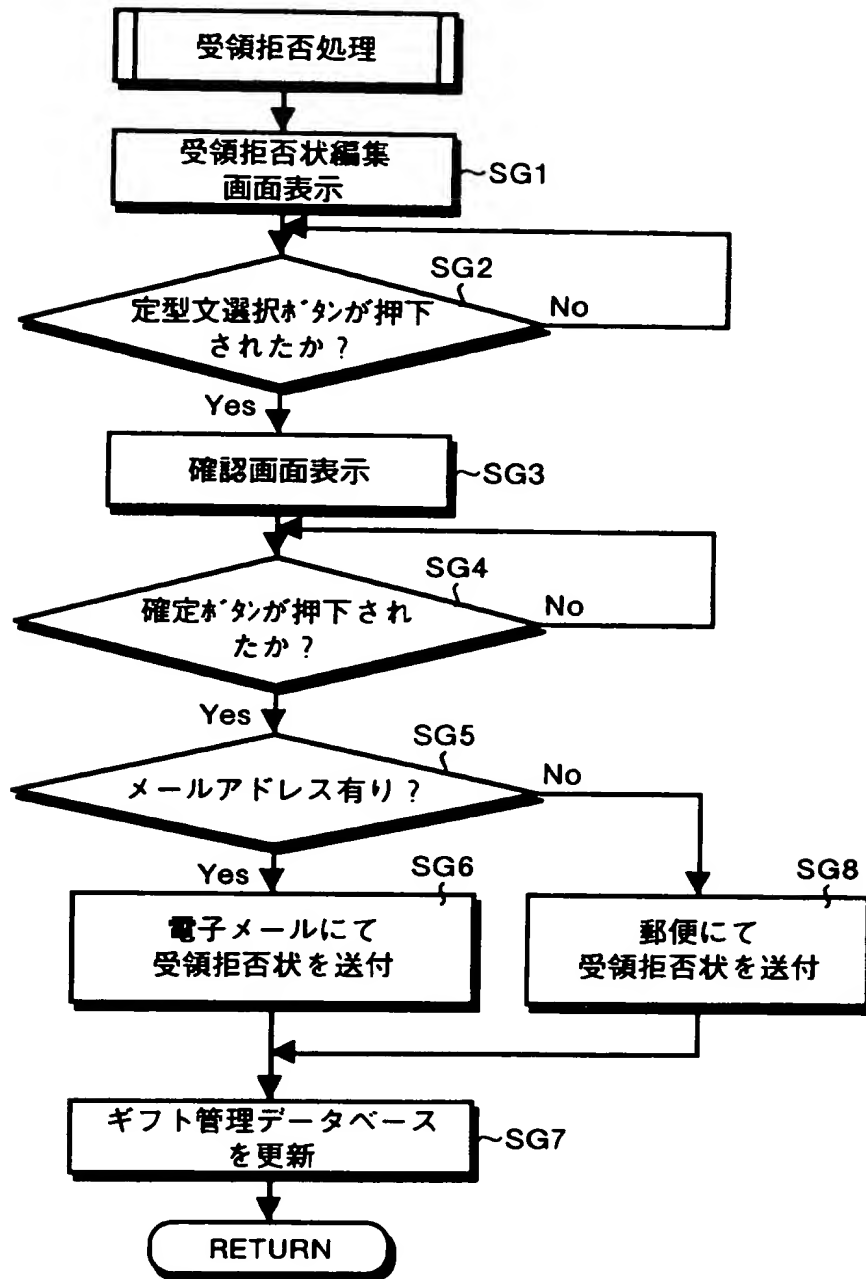
【図 9】

図 6 に示した配送予定日変更処理を説明するフローチャート



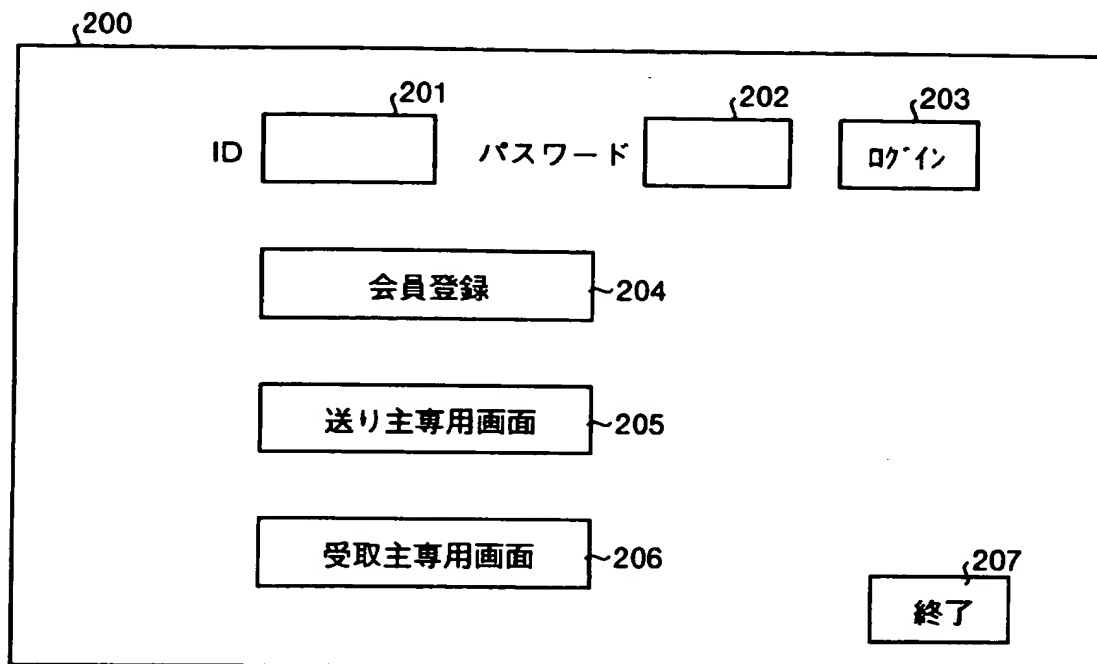
【図 1 0】

図 6 に示した受領拒否処理を説明するフローチャート



【図 1 1】

一実施の形態におけるトップ画面200の一例を示す図



【図 1 2】

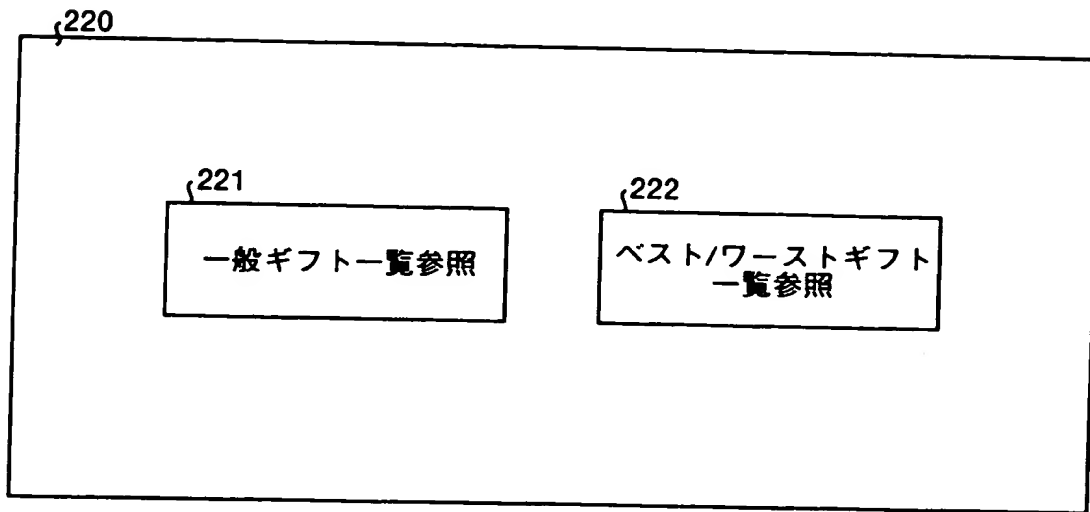
一実施の形態における会員登録画面210の一例を示す図

210

氏名	<input type="text"/>	} 211	
住所	<input type="text"/>		
メールアドレス	<input type="text"/>		
カード番号	<input type="text"/>		
ベスト・ギフトを公開しますか？ <input checked="" type="checkbox"/> YES <input type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/> 特定会員のみ			} 212
特定会員のID <input type="text"/>			
ワースト・ギフトを公開しますか？ <input checked="" type="checkbox"/> YES <input type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/> 特定会員のみ			} 213
特定会員のID <input type="text"/>			
<input type="button" value="登録"/>			~ 214

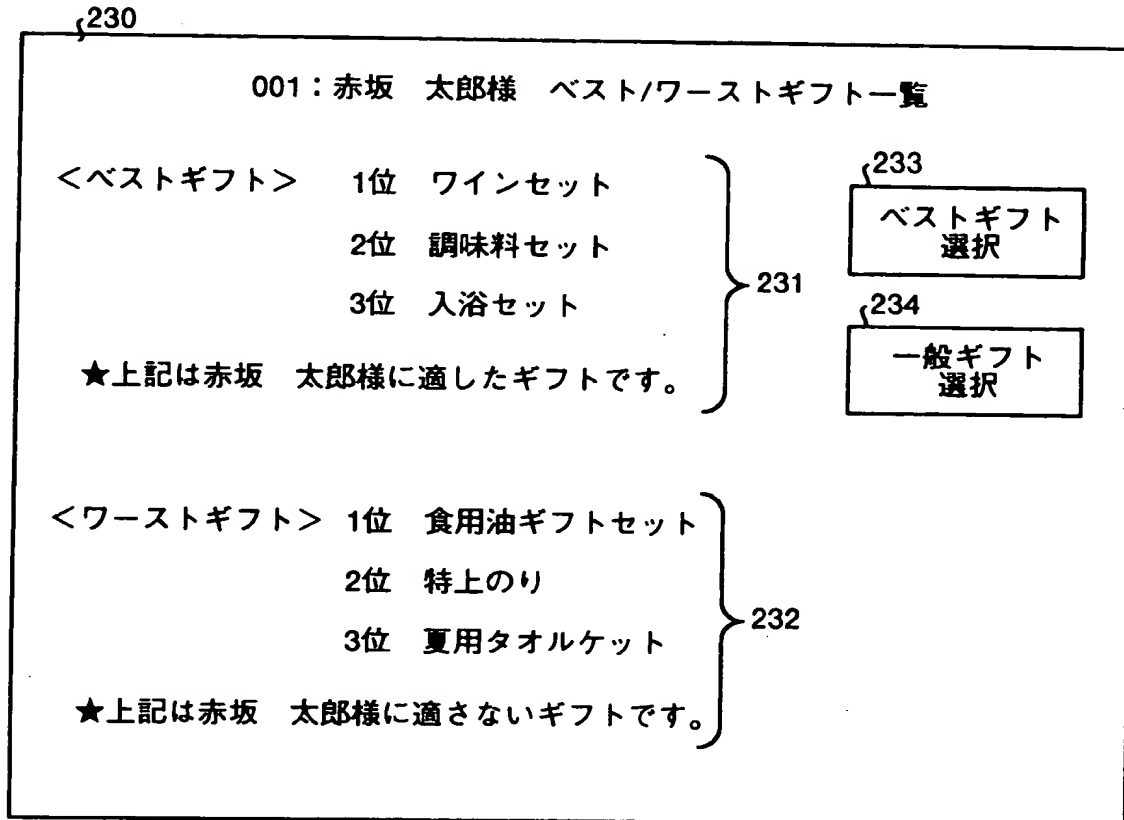
【図 1 3】

一実施の形態における選択画面220の一例を示す図



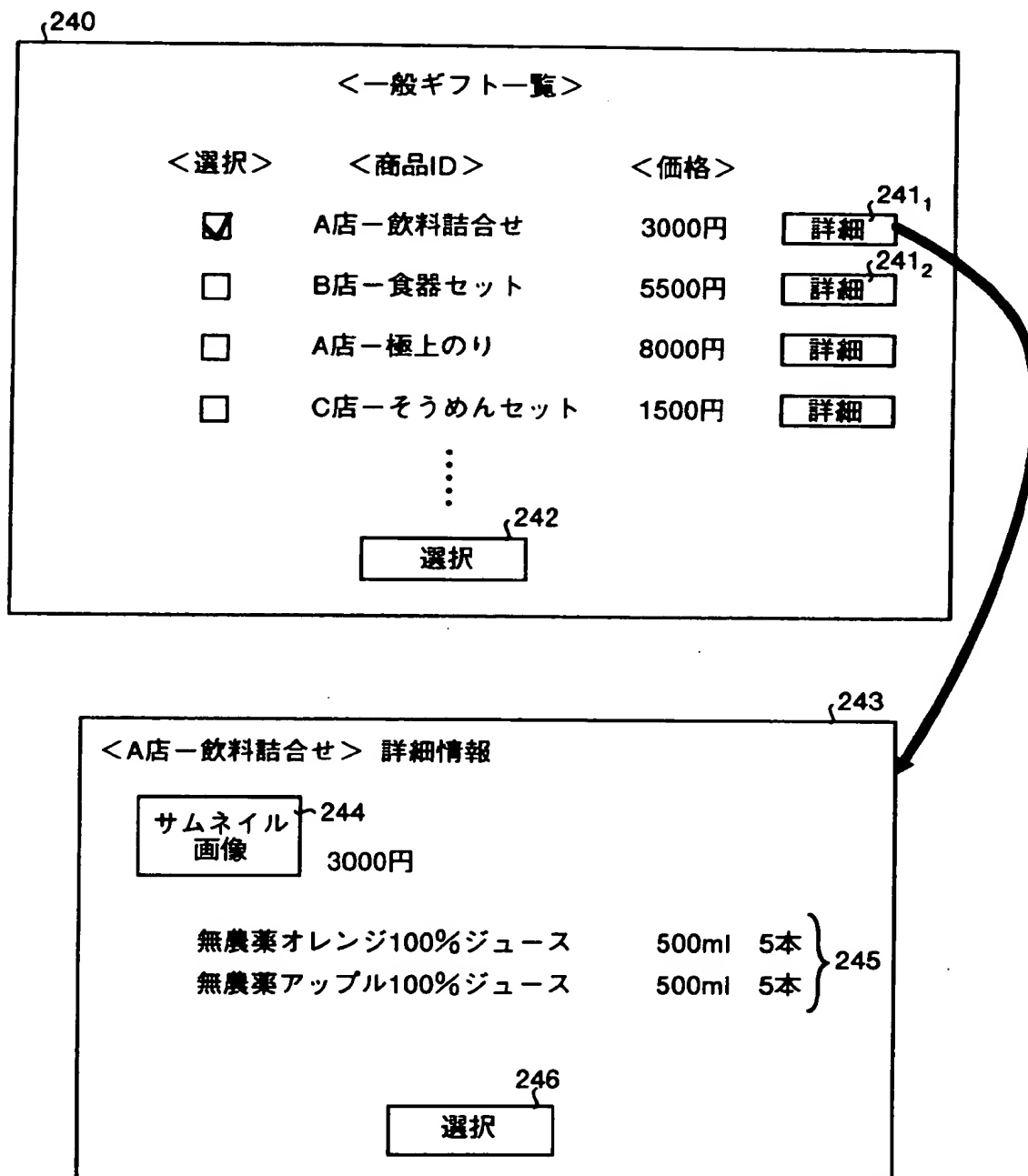
【図 1 4】

一実施の形態におけるベスト/ワーストギフト一覧画面230の一例を示す図



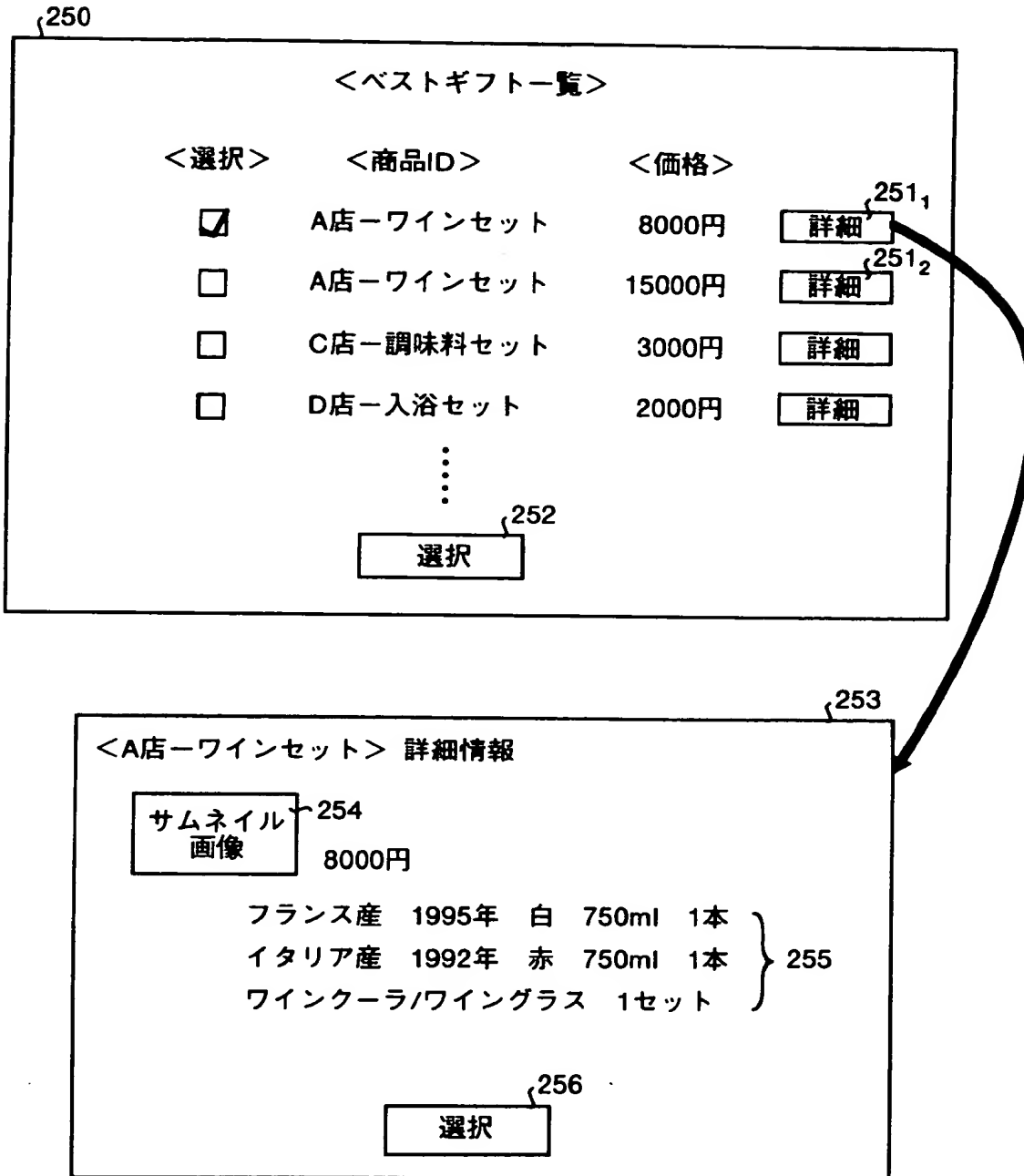
【図 15】

一実施の形態における一般ギフト一覧画面240の一例を示す図



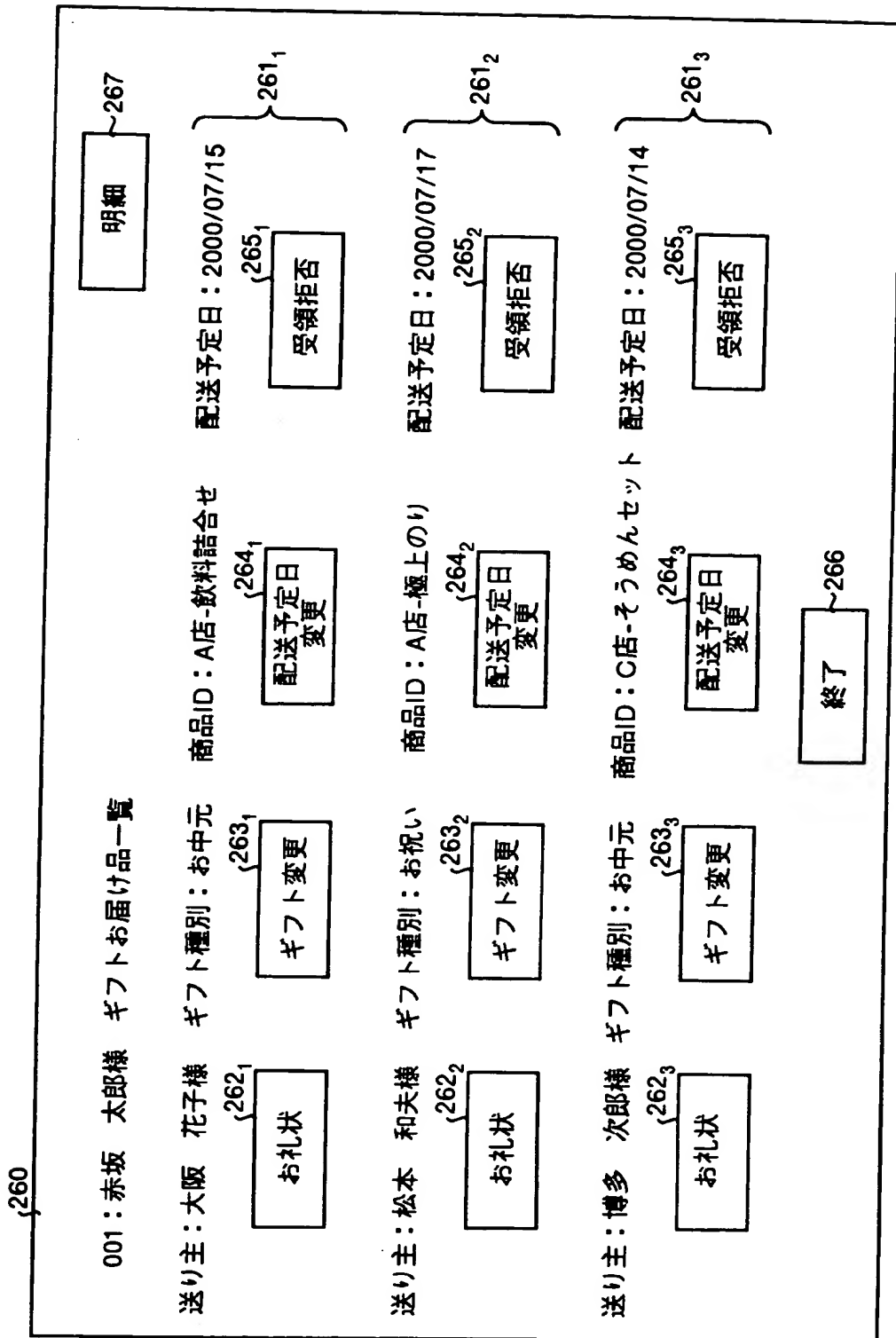
【図 1 6】

一実施の形態におけるベストギフト一覧画面250の一例を示す図



【図 17】

一実施の形態におけるギフト一覧画面260の一例を示す図



【図 1 8】

一実施の形態における礼状編集画面270の一例を示す図

270

大阪花子様へのお礼状（お中元）

☒ タイプ1：この度は結構なお品を頂戴し...

☐ タイプ2：いつもお気遣いありがとうございます...

271

272

選択

【図 1 9】

一実施の形態における確認画面280の一例を示す図

280

大阪花子様へのお礼状（お中元・タイプ1）

★このお礼状は郵便で配達します。

この度は結構なお品を頂戴し、誠にありがとうございます。

すっかりご無沙汰しておりますが、花子さんはお変わりありませんか。

私どもはお陰様で元気に過ごしております。

暑さ厳しき折、どうぞご自愛下さい。

281

確定

【図20】

一実施の形態における配送予定日変更画面290の一例を示す図

The screenshot shows a delivery date change interface. At the top right, a bracket labeled '290' points to the entire window. The window contains the following elements:

- Title: 大阪 花子様からの「A店-飲料詰合せ」
- Current date: 配送予定日 2000/07/15
- Option 1: ☒ 配送予定日をつぎの日付に変更する. A bracket labeled '291' points to the date input field.
- Date input: 変更後の配送予定日: [2000/09/30]
- Option 2: ☐ 配送予定日を指定しない
- Confirmation button: [確定]. A bracket labeled '292' points to this button.

【図 21】

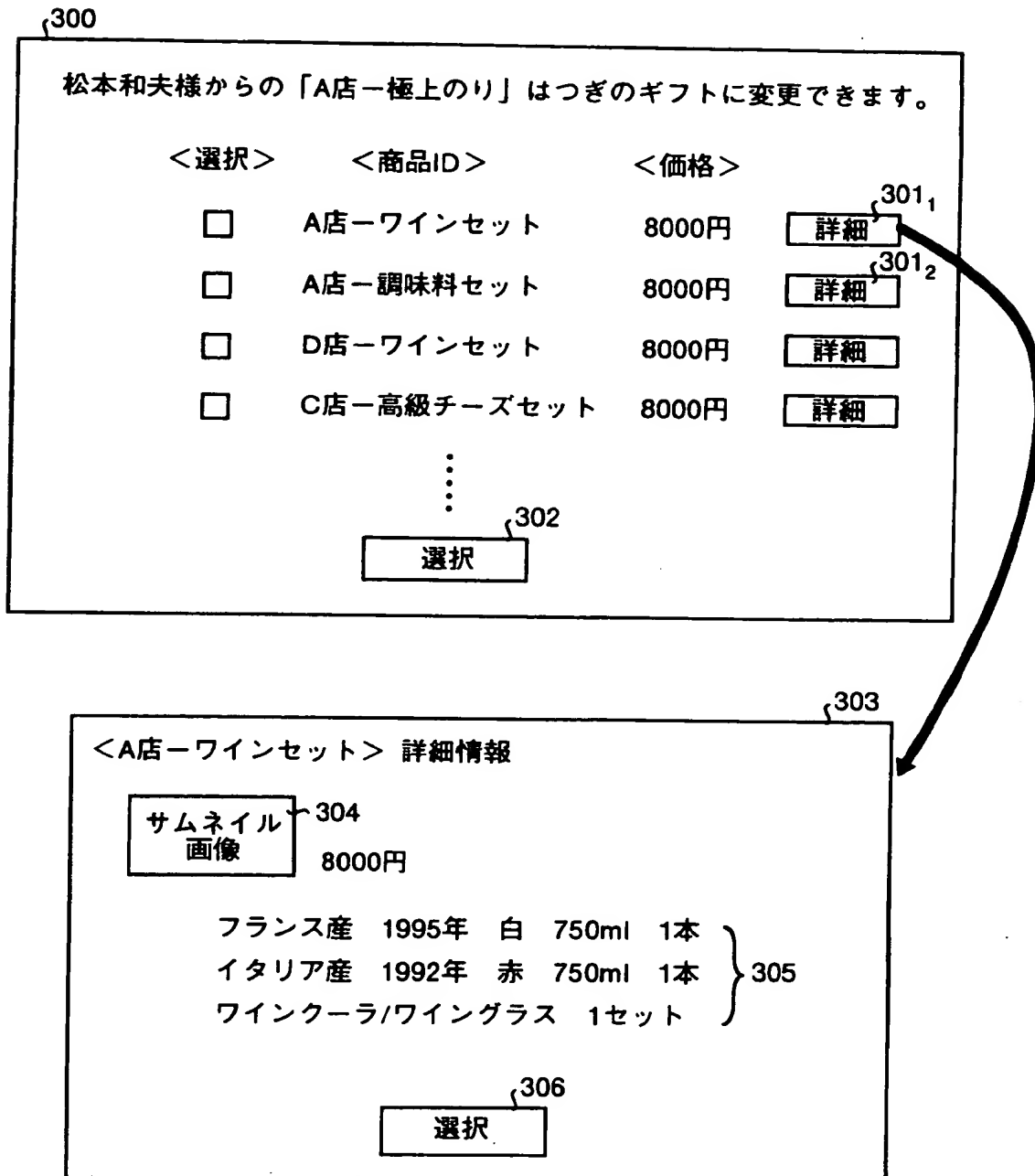
一実施の形態におけるギフト一覧画面260Aの一例を示す図

260A

001：赤坂 太郎様		ギフトお届け品一覧		明細		267
送り主：大阪	花子様	ギフト種別：お中元	商品ID：A店-飲料詰合せ	配送予定日：2000/09/30		261A ₁
お礼状	ギフト変更	配送予定日 変更	受領拒否			
送り主：松本 和夫様	ギフト種別：お祝い	商品ID：A店-極上のり	配送予定日：2000/07/17			261 ₂
お礼状	ギフト変更	配送予定日 変更	受領拒否			
送り主：博多 次郎様	ギフト種別：お中元	商品ID：C店-そうめんセット	配送予定日：2000/07/14			261 ₃
お礼状	ギフト変更	配送予定日 変更	受領拒否			
終了						266

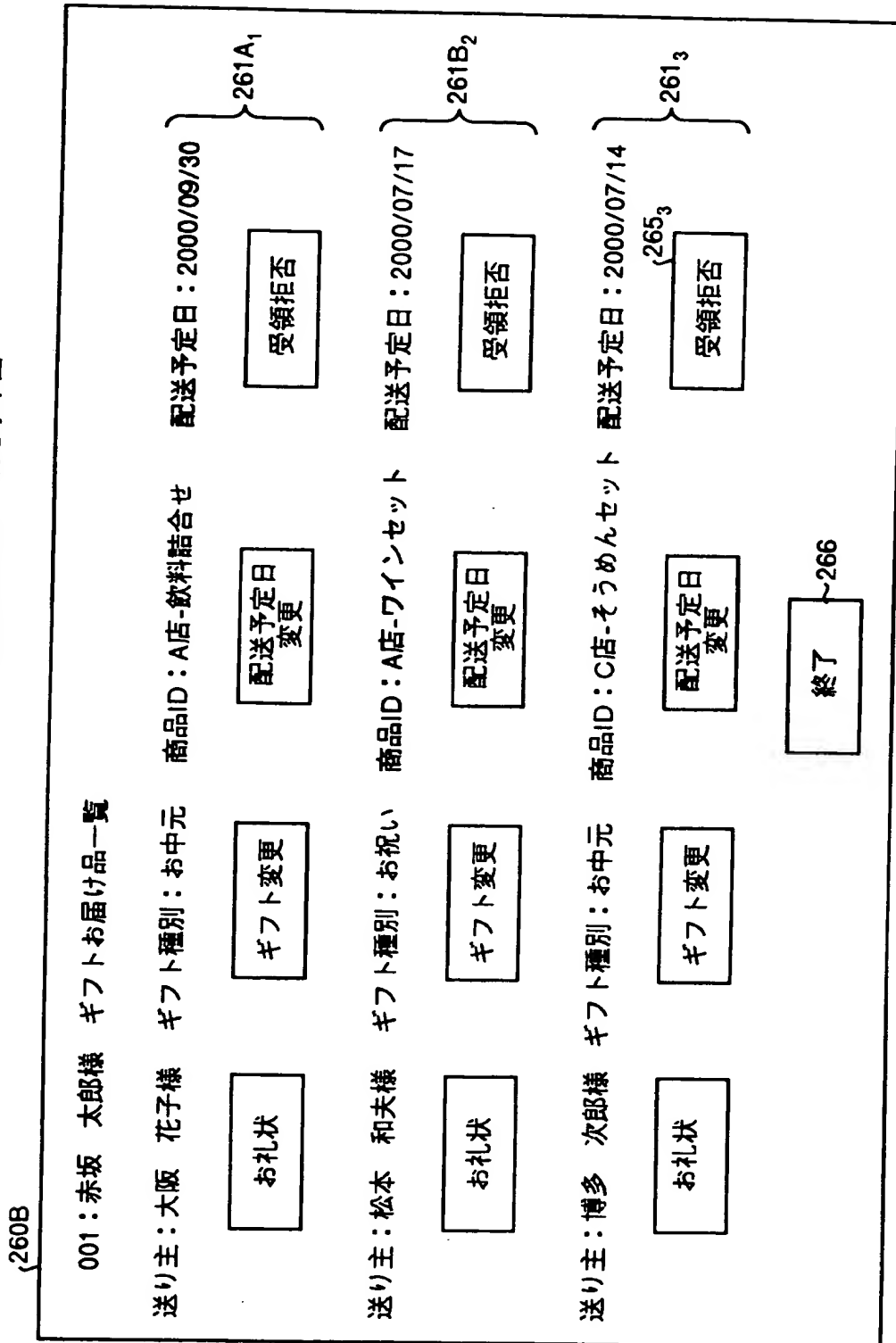
【図 2 2】

一実施の形態におけるギフト変更画面300の一例を示す図



【図 2 3】

一実施の形態におけるギフト一覧画面260Bの一例を示す図



【図 2 4】

一実施の形態における受領拒否状編集画面310の一例を示す図

博多次郎様への受領拒否状 (返却)

☐ タイプ1: 結構なお品を頂戴しましたが...

☒ タイプ2: この品物は受け取れませんので...

311

310

312

返却

【図 2 5】

一実施の形態における確認画面320の一例を示す図

博多次郎様への受領拒否状 (返却・タイプ1)

★この受領拒否状は郵便で配送します。

この品物は受け取れませんので.....

320

321

確定

【図 26】

一実施の形態におけるギフト一覧画面260Cの一例を示す図

260C

001: 赤坂 太郎様	ギフトお届け品一覧	明細	~267
送り主: 大阪 花子様	ギフト種別: お中元	商品ID: A店-飲料詰合せ	配送予定日: 2000/09/30
お礼状	ギフト変更	配送予定日 変更	受領拒否
			261A ₁
送り主: 松本 和夫様	ギフト種別: お祝い	商品ID: A店-ワインセット	配送予定日: 2000/07/17
お礼状	ギフト変更	配送予定日 変更	受領拒否
			261B ₂
		終了	~266

【図 2 7】

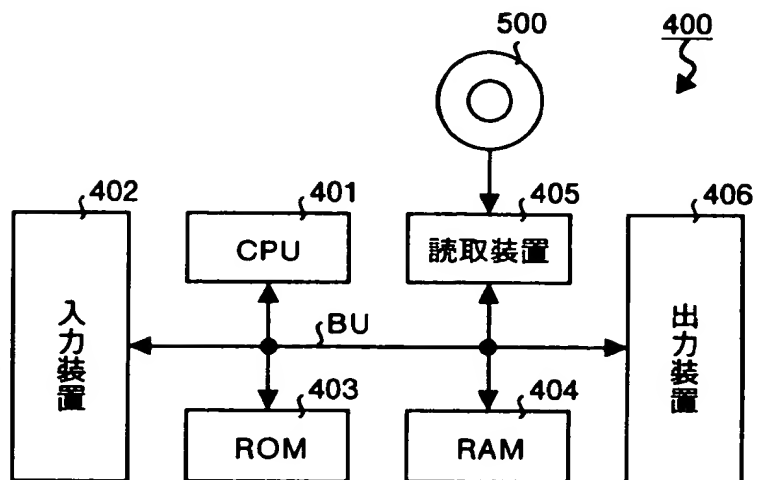
一実施の形態における明細画面330の一例を示す図

330

001：赤坂 太郎様 ギフトお届け品明細（2000年7月分）	
1	<p>送り主：大阪 花子様</p> <p>種別：お中元 商品ID：A店-飲料詰合せ 配送予定日：2000/07/15</p> <p>→お礼状送付（お中元・タイプ1）</p> <p>→配送予定日：2000/9/30に変更</p>
2	<p>送り主：松本 和夫様</p> <p>種別：お祝い 商品ID：A店-極上のり 配送予定日：2000/07/17</p> <p>→A店ワインセットに変更</p>
3	<p>送り主：博多 次郎様</p> <p>種別：お中元 商品ID：C店-そうめんセット 配送予定日：2000/07/14</p> <p>→受領拒否</p> <p>→受領拒否状送付（返却・タイプ1）</p>

【図 2 8】

一実施の形態の変形例を示すブロック図



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 ギフトの送り主、受取主および販売者の利便性、経済性を向上させること。

【解決手段】 ギフトの送り主側に設置された送り主側クライアント 1 0₁ からのギフト注文を受け付ける送り主関連制御部 5 4 と、当該ギフトの受取主側に設置された受取主側クライアント 3 0₁ にギフト注文の情報を提供する受取主関連制御部 5 5 とを備え、受取主関連制御部 5 5 は、ギフト注文の情報に基づいて、受取主側クライアント 3 0₁ からの当該ギフトの変更を受け付け、当該受取主に関するギフト変更履歴情報をギフト変更管理データベース 1 3 0 に格納し、送り主関連制御部 5 4 は、ギフト注文時にギフト変更履歴情報を送り主側クライアント 1 0₁ に提供する。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [0 0 0 0 0 5 2 2 3]

1. 変更年月日 1 9 9 6 年 3 月 2 6 日

[変更理由] 住所変更

住 所 神奈川県川崎市中原区上小田中 4 丁目 1 番 1 号
氏 名 富士通株式会社